

2025年度

東京藝術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

※本学所定の「出願時提出書類」は別冊

2024年12月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

入試情報サイト

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

受験上の注意事項

1. 試験日程（集合時刻・試験時刻）及び合格者受験番号等試験に関する諸事項は、本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)で発表する。
 - (1) 本募集要項の「入学試験実施日程表」に書かれている合格者発表日及び日程等発表日には受験者自身が必ず本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)で確認すること。（過去に掲示の見落としや誤認のため受験できなかった者がいたので特に注意すること。）なお、学部第1回試験日程は2025年2月24日(月)、別科試験日程は2025年3月7日(金)いずれも本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)で14時以降(予定)発表する。
 - (2) 掲示等で記載する番号は、本学部受験票の受験番号である。
2. 試験当日は掲示等で発表した集合時刻までに集合場所に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。（受験者以外の入構は認めない。）
 - (1) 本学部受験票と大学入学共通テスト受験票（私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）を常に携帯し、正門出入りの際は守衛所の係員に提示すること。（受験票を忘れたり紛失した場合は、係員に申し出ること。）外国教育課程出身者特別入試受験者と別科志願者は本学部受験票を常に携帯すること。
 - (2) 実技試験において集合時刻に遅れた者に対しては、受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに入試事務室に申し出ること。
 - (3) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
 - (4) 以下の行為を禁じる。違反した場合は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めないことがある。
 - ・音出し室以外（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習
 - ・音出し室、控室にあるピアノの使用（ただし、ピアノ受験者は、係員の指示に従うこと。）
 - ・本学建物内での全ての録音及び写真・映像等の撮影
 - ・試験室内での携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用
 - ・入学試験期間内における入学試験内容・問題文のSNS等への無断転載
 - (5) 筆記試験において下敷は使用できない。時計は計時機能だけのもの（腕時計）に限り使用できる。
 - (6) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等を試験室内に持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。タブレット端末による楽譜使用は禁止である。
 - (7) 試験の内容に関する質問には一切答えない。
 - (8) 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、近くにいる係員に申し出ること。
 - (9) 本学部構内に忘れ物をした場合は、1週間以内に本学部学生募集係に申し出ること。
 - (10) 合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」に掲載する。最終合格者発表のみ「入試情報サイト」に併せて音楽学部内の掲示を行う。
3. 試験場等の下見は一切認めない。
4. 試験に関する電話による問い合わせには原則として応じない。
5. 本学に駐車場はない。
6. 毎年入試の時期になると本学及び駅の近辺で本学関係者であるような印象を与えて合否電報を取り扱う者がいるが、本学とは一切関係がないので注意すること。また、本学は大学外において直接受験生に対して、住所その他の連絡先等を聞くことは一切ないので併せて注意すること。

以上

目 次

I	音楽学部	
○	音楽学部アドミッション・ポリシー	1
1.	募集人員	1
2.	出願資格	3
3.	選抜方法	4
4.	外国教育課程出身者特別入試	5
5.	私費外国人留学生	7
6.	出願手続	8
7.	試験科目一覧および合否判定方法・基準	22
8.	試験日程・試験場	24
9.	入学者選抜試験個人成績の開示について（合格者は除く）	25
10.	試験内容および試験曲	
ア.	専攻実技等	26
イ.	音楽に関する基礎能力検査および副科実技等	62
ウ.	面接	69
エ.	その他	69
11.	合格者発表	70
12.	入学手続等について	71
13.	藝心寮（学生寮）について	72
14.	入学料・授業料の免除・徴収猶予について	73
15.	「修学支援奨学金（給付型）」について	74
16.	奨学金・特待生について	74
II	別科	75
III	2025年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（別表1）	99
IV	2025年度音楽学部・別科入学試験実施日程表（別表2）	102
V	個人情報の取り扱いについて	103
	藝心寮のご案内	104
	2025年度東京藝術大学受験web宿泊プランについて	106

I 音楽学部

○ 音楽学部アドミッション・ポリシー

音楽学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目標に適う人材を育成するために、音楽の各分野における表現・創造・研究に対し、本学の伝統を継承しつつ新たな歴史を刻もうという強い意志と意欲を持った方を求めます。演奏系専攻には高い音楽の基礎能力に裏打ちされた、優れた演奏技術と芸術的感性を、創作・研究系専攻には優れた音楽的能力だけでなく、従来の枠を超えた音楽芸術の創造を目指し、研究に対し創造性と批評性を併せ持った人材を期待します。よって選抜試験においては大学入学共通テストの結果に加え、各専攻別に独自の実技試験を行い、多様な評価方法による選抜を行います。

1. 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
作 曲 科	15
声 楽 科	54
器 楽 科	98
指 揮 科	2
邦 楽 科	25
楽 理 科	23
音楽環境創造科	20
合 計	237

※ 音楽学部は前期日程のみの募集である。

※ 音楽環境創造科の授業は、主に千住校地（東京都足立区）で行う。

[千住校地所在地]

〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

[交通機関]

（JR）北千住駅下車徒歩5分

（東京メトロ）千代田線・日比谷線

北千住駅下車徒歩5分

（東武鉄道）東武伊勢崎線北千住駅下車徒歩5分

（首都圏新都市鉄道）つくばエクスプレス

北千住駅下車徒歩5分

※ 音楽環境創造科の入学者選抜試験は、他の学科と同様、上野校地（東京都台東区）（24ページ掲載「試験場案内図」参照）で行う。

(注) 1. 音楽学部への出願は、志願する科もしくは専攻1つに限る。

① 声楽科志願者は、次の中から1声種を選択し出願すること。

ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）

※男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する専攻（声種）に出願すること。

② 弦楽、管打楽及び古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し出願すること。

(弦 楽) ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, コントラバス, ハープ

(管打楽) フルート, オーボエ, クラリネット, ファゴット, サクソフォーン, ホルン,
トランペット, テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン, ユーフォニアム,
チューバ, 打楽器

(古 楽) チェンバロ, バロックヴァイオリン, リコーダー

③ 邦楽科志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。

長唄三味線, 常磐津三味線, 清元三味線, 長唄, 常磐津, 清元, 邦楽囃子,
現代邦楽囃子(打楽器), 現代邦楽囃子(笛), 日本舞踊, 箏曲(山田流), 箏曲(生田流),
現代箏曲, 尺八(琴古流), 尺八(都山流), 能楽(観世流), 能楽(宝生流),
能楽(下掛宝生流), 能楽(狂言), 能楽囃子, 雅楽(笙), 雅楽(箏), 雅楽(龍笛)

2. 音楽学部と別科の併願受験について

音楽学部と別科の併願受験については、以下のとおり取り扱う。

① 併願を認める学科・専攻

音楽学部の声楽科、器楽科（管打楽）及び邦楽科の各志願者にあつては、それぞれ別科の声楽専修、器楽専修（管打楽）及び邦楽専修と併願受験できる。

② 併願を禁止する学科・専攻

音楽学部器楽科（ピアノ・オルガン・弦楽・古楽）の各志願者は、それぞれ別科の各専修と併願受験することはできない。これらについては、志願する音楽学部の学科・専攻と別科の専修が異なる場合でも併願受験はできない。

2. 出願資格

本学部に出願できる者は、次のいずれかに該当する者で、本学部で定める2025年度大学入学共通テストの教科・科目のすべてを受験した者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者及び2025年3月31日までに、これに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
 - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者
 - カ 「飛び入学」した者であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者
「飛び入学」した者であって、その後に入学者をさせる大学において、大学教育を受ける学力があると認められた者
 - キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

(補足) 出願資格(3)キにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。提出締切期限は、①大学入学共通テストに出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、2024年8月23日（金）までとし、②大学入学共通テストに出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、2024年12月13日（金）までとする。

- (注) 1. 本学部（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できないが、「後期日程」の他の大学・学部には出願できる。
2. 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学部の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。
3. 他の国公立大学・学部の総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、当該総合型選抜を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学部の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。
4. 本学部の入学試験に合格し、2025年3月15日(土)までに入学手続を行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意すること。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、専攻実技等・音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等・面接（作曲科，邦楽科及び音楽環境創造科の志願者のみ）及び出身学校長から提出された調査書並びに大学入学共通テストの成績の各資料を総合して判定する。試験科目一覧および合否判定方法・基準については 22 ページ参照。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

受験を要する教科・科目は本学部が（別表 1）（99 ページ）のとおり指定しているので指定したとおり受験すること。願書受理後であっても，本学部の指定した教科・科目を受験していないことが明らかになった場合は失格とする。

(2) 民間英語資格・検定試験の活用

音楽学部「作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科」入学者選抜（一般選抜）における大学入学共通テストの「英語」については、「民間英語資格・検定試験」のスコアが，次に掲げるいずれかの水準を超えている場合には，スコア等の提出を認め，大学入学共通テストにおける「英語」の成績を満点とみなして扱う。ただし，その場合であっても，大学入学共通テストにおける「外国語」は受験しなければならない。

対象となる「民間英語資格・検定試験」及び「スコア・等級」

- ・ 実用英語技能検定（英検） 準 1 級以上
- ・ IELTS (Academic Module) バンド 5.5 以上
- ・ TOEFL iBT 72 点以上
- ・ Cambridge English (ケンブリッジ英語検定) FCE (160~179) 以上

注 1：対象となる「民間英語資格・検定試験」は，2023 年 2 月以降に受験した試験に限る。ただし，「実用英語技能検定（英検）」については，二次試験を 2023 年 2 月以降に受験した試験とする。

注 2：TOEFL ITP, TOEFL Junior Comprehensive, TOEFL PBT, TOEIC IP は対象としない。

(3) 外国教育課程出身者特別入試

「外国教育課程出身者特別入試」についての詳細は 5 ページ参照

(4) 私費外国人留学生

「私費外国人留学生」についての詳細は 7 ページ参照

(5) 特別の選抜方法について

音楽学部においては，2 段階選抜，学校推薦型選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜，総合型選抜，帰国子女・社会人のための特別の選抜は行わない。

4. 外国教育課程出身者特別入試

1. 趣旨

近年、諸外国での教育制度や国際バカロレアのカリキュラムの下で学ぶ者の数は増加しており、これらを通じて多様な文化・言語に触れ、基礎的学力を身に付けた者に対して、本学の優れて高度な大学教育の機会を提供することは、その国際的な素養を大きく発展させる契機となるだけでなく、本学の教育環境の多様性を一層深め、国際舞台で活躍できる有為な人材を育成することが可能となるものと期待できる。このため、次のとおり外国教育課程出身者に対して特別選抜を実施する。

2. 入学者選抜における基本方針

外国教育課程出身者特別入試では、優れた音楽的能力のみならず、入学後の教養教育に十分に対応できる知識と、国際的な視野やコミュニケーション能力を備えていることを重視する。

- ・必要書類（志望理由書、成績証明書等）により、幅広い分野の基礎知識や能力、日本語及びその他言語のコミュニケーション能力などを評価する。
- ・実技検査では、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価する。
- ・面接では入学後、日本語で行われる授業内容を充分理解しうる日本語能力などを評価する。

3. 入学までに身に付けて欲しいこと

専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力、主体的に学ぶための知識や思考力、国際的な視野、日本語及びその他言語によるコミュニケーション能力を身に付けていることを望む。

2025 年度「外国教育課程出身者特別入試」概要

実施学部・学科名	音楽学部全学科
募集人員	若干名（一般選抜の募集人員に含む。）
出願資格	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、以下の出願資格のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 次の資格のいずれかを 2023 年又は 2024 年に取得した者。</p> <p>①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格（注）日本における認定校出身の有資格者及び資格取得見込み者を含む。</p> <p>②ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>④グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-A レベル）又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際 A レベル）（いずれも 3 科目以上で E 以上の評価を取得していること）</p> <p>⑤欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格（欧州バカロレア）</p>

選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除し、必要書類及び本学が実施する一般選抜志願者と同一の個別試験により選抜する。また、全学科、日本語による面接を課す。</p> <p>※志願者は志望理由書（800字以内。所定の用紙に日本語、手書きで記入のこと）を必要書類とともに提出しなければならない。（音楽環境創造科志願者については、一般選抜志願者も含む志願者全員に提出を課している志望理由書（61ページ参照）を充てるため、それとは別で改めて志望理由書を提出する必要はない。）</p>
出願期間	2025年度音楽学部一般選抜と同一期間とする。
選抜期日	各学科の一般選抜志願者と同一期日とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本学における一般選抜との併願は認めない。 ・本学が実施する個別試験は日本語により行う。 ・本学における授業は、一部分を除き日本語で行う。

5. 私費外国人留学生

「私費外国人留学生」とは、外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（1951年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、以下の出願資格のいずれかに該当する者を指す。なお、日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者は、ここでいう「私費外国人留学生」には該当しない。

大学入学共通テストは課さないが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を本学部が定めた（以下「日本留学試験」出題科目等について）を参照）とおり受験しなければならない。募集人員は、入学定員内として若干人である。

本学部が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料等を総合して判定する。

出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したものの。
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者。
- (3) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル）（いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること）を取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者。
- (4) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア）を取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者。
- (5) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、国際的な認証団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者。

「日本留学試験」出題科目等について

「日本語」及び「総合科目」を受験すること。

- （注）1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもよい。
2. 渡日前の入学許可は行わない。（外国において音楽学部の入学者選抜は行わない。）
3. 2024年6月、11月に実施した日本留学試験のいずれかを提出すること。科目ごとに違う回の成績を大学に提出することはできないので注意すること。

「日本留学試験」に関する問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457
ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

6. 出願手続

1. 出願手順・方法

音楽学部入学試験の出願方法は、以下のとおりである。**1**、**2**を指定された期間内に行い、**3**の必要書類を出願期間内に本学に郵送すること。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続き完了となる。出願が受理されると、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。**4**

1	インターネット出願登録 (詳細は 12 ページ参照)	パソコン等で本学の「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録すること。
▼		
2	入学検定料の支払い (詳細は 14 ページ参照)	1 の完了後、「インターネット出願サイト」の指示に従って、入学検定料を支払うこと。
▼		
3	必要書類の送付 (詳細は 16 ページ参照)	2 の完了後、本学「入試情報サイト」から必要書類等を印刷し、他の必要書類とともに本学に郵送すること。
▼		
4	受験票の印刷 (詳細は 20 ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、「インターネット出願サイト」の「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。

2. 出願期間

インターネット出願登録期間	入学検定料支払期間	出願期間
2025年1月27日(月) 10:00から 2025年2月5日(水) 23:59まで	2025年1月27日(月) 10:00から 2025年2月5日(水) 23:59まで	2025年1月27日(月)から 2025年2月5日(水)まで [上記期間内の消印で郵送された出願書類に限り受け付ける。]


(注) 必要書類を直接大学に持参した者、上記期間外に手続きした者の出願は、いかなる理由があっても受け付けない。

インターネット出願登録期間最終日である2025年2月5日(水)に出願登録した者については、入学検定料支払期限・必要書類の有効消印日いずれも2025年2月5日(水)までとなるので注意すること。

3. 出願上の注意

- ・インターネット出願は、「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。入学検定料（14 ページ参照）を支払期限までに支払い、必要書類（16 ページ参照）を出願期間内に書留・速達郵便にて本学に郵送する必要がある。
- ・「インターネット出願サイト」に登録された学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、「インターネット出願サイト」の「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合がある。
- ・入学検定料支払後は、登録内容を一切変更できないため、誤入力のないよう注意すること。また、出願受理後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・必要書類を日本国外から郵送する場合は、提出期限までに書留・速達郵便に準ずる方法で本学に郵送すること。
- ・出願にあたり不明な点がある場合は、必ず 2025 年 2 月 5 日（水）17 時までに音楽学部学生募集係へ問い合わせること。
- ・本大学及び国内の他大学との二重学籍は認めないので出願時に十分考慮すること。

インターネット出願する前に必ず確認すること	
パソコン等の動作環境の確認	<p>インターネット出願は、以下の環境で行うこと。</p> <p>【PC 利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 8 以降 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は控えること。</p> <p>【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 12 以降 ・ Android OS8 以降 ・ iPadOS 13 以降 <p>※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。</p> <p>※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。</p> <p>※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合があるので、モバイル版を利用すること。</p> <p>【プリンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラー印刷ができるプリンター <p>※ 「インターネット出願サイト」から印刷する「受験票」には写真が含まれるため、必ず「カラー印刷」すること。</p>

インターネット出願する前に必ず確認すること	
メールの設定	<p>登録されたメールアドレスにメールが以下4回送信される。</p> <p>① 初期パスワードおよび本登録用 URL の通知メール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール</p> <p>その他、試験当日自然災害による試験の中止等入試に関する緊急連絡事項を送信する場合がある。</p> <p>メールは no-reply@e-apply.jp もしくは music.admissions@ml.geidai.ac.jp から送信される。あらかじめ受信できるように設定しておくこと。</p>
写真の用意	<p>出願には顔写真データ（2MBまで）が必要である。 明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前3か月以内に撮影した、カラー写真データを用意すること。（右図参照） 提出する写真は縦長であること （比率は縦4,横3が望ましい。）</p>  <p><使用できない写真の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の写真を再度撮影したもの、不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等 <p>※提出された写真は、最終合格後学生証に使用する。</p>
書類の用意	<p>出願資格を証明する書類</p> <p>③ 必要書類の送付（16ページ）を参照の上、調査書等、出願に必要な提出書類は、提出期限に間に合うようあらかじめ用意すること。</p>
	<p>その他出願に必要な提出書類</p> <p>志願する専攻に応じて提出書類が異なる。 「入試情報サイト」の「各種様式」のページよりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。 ※「各種様式」ページへのアクセス方法： 「入試情報サイト」→WEB出願→各種様式</p>
封筒の用意	<p>必要書類郵送のために、市販の角型2号封筒（240mm×332mm、A4サイズ用の紙が折らずに入る封筒）を用意すること。「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に貼付すること。 ※別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。</p>
用紙の用意	<p>A4サイズの普通コピー用紙（白色）を用意すること。「インターネット出願サイト」から印刷する書類等はA4サイズにカラー印刷する。</p>

※「インターネット出願サイト」上の「事前準備」も併せて確認すること。

○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079

(平日 10:00~18:00 土・日・祝日・年末年始を除く。※出願期間中は 24 時間対応) (日本語のみ)

※ E-mail: cvs-web@career-tasu.co.jp (日本語・英語対応可)

※ 入試に関する質問は不可

○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail: music.admissions@ml.geidai.ac.jp Tel: 050-5525-2309

(平日 9:00~12:15, 13:30~17:00 土曜・日曜・祝日・本学の夏期休業期間・年末年始を除く。)

※やむを得ない場合を除き志願者本人がメールにて問い合わせをすること。

4. 出願手順・方法の詳細

1 インターネット出願登録

出願登録期間内に「入試情報サイト」の Web 出願から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、「インターネット出願サイト」トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

手順	
	「インターネット出願サイト」(https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス ▼
マイページ登録	○「マイページ登録」(オレンジ色のボタン) をクリック ○入力画面に従い、個人情報等を入力する。 ▼
志願先登録	○マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ○「音楽学部・音楽研究科」・「音楽学部」を選択する。 ○出願する科、専攻等を選択する。 ▼
個人情報の登録	マイページ登録の際に登録した氏名、現住所等の個人情報内容を確認すること。 その他、必要事項を全て入力すること。 *写真のアップロード：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること。 (10 ページ参照) *学歴については、卒業証明書などの学歴が確認できる証明書を確認しながら入力し、学校名・卒業年月等に誤りがないようにすること。 ▼
出願内容の確認	決済情報の他、入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」のボタンをクリックする。 ▼
出願登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。登録したメールアドレスに出願登録完了メールが届くので確認し、「引き続き支払う」をクリックし、入学検定料の支払手続に進む。

※インターネット出願登録完了メールには受付番号が表記されているので、入試終了まで大切に保管すること。

※出願登録後にメールアドレスを変更してしまうと、受験票発行の通知メールが受信できなくなるので注意すること。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

1. インターネット出願登録完了時に表示される 12 桁の受付番号は、受験番号ではない。
2. 登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックし、改めて出願登録および入学検定料の支払いをすること。誤った出願登録の入学検定料については、返還請求をすることができる。入学検定料の返還請求については 15 ページを確認すること。
3. 出願登録した日から起算し、その 4 日後の 23 時 59 分までに支払手続きが行われない場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
※ただし出願登録完了日が支払期限締切日まで 4 日未満の場合は、支払期限締切日が優先される。
※2025 年 2 月 5 日（水）にインターネット出願登録した場合、入学検定料支払期限・必要書類の有効消印日はいずれも 2025 年 2 月 5 日（水）までとなる。
4. 写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。
5. 入力する氏名は、必ず戸籍と同一文字でなければならない。漢字等で入力できない文字については、代替の漢字（なければカナ）を入力すること。
6. 指導教師名の申告欄には、2024 年 2 月 2 日（金）から 2025 年 2 月 1 日（土）までの間で以下について指導を受けた教師の氏名及びその期間についてできるだけ正確に入力すること。正確に記憶していない場合は概略でもかまわない。なお、一度でも指導を受けた場合は入力すること。
 - ・受験志望の専攻実技
 - ・楽典、聴音等ソルフェージュ全般
7. 学歴・指導教師欄が不足する場合は、各自で別紙（任意形式）を作成し、出願手続き「必要書類の送付」の際に同封すること。別紙（任意形式）には志願者氏名、受験する専攻、受付番号を明記すること。
8. 入学手続き書類送付先住所は、最終合格者への書類送付時の宛先となる。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入する。

2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、1のインターネット出願登録完了後に行う。インターネット出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手続をする。

- ① インターネット出願登録完了後「引き続き支払う」をクリックし支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」のトップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックし支払う。

入学検定料	入学検定料支払期間
20,400円	2025年1月27日(月)10:00から2025年2月5日(水)23:59まで

※国費外国人留学生は入学検定料の支払いは不要。

※支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。

支払い方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン/ローソン, ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート/デイリーヤマザキ/セイコーマート	志願者本人の名義でなくとも構わない。
クレジットカード	MUFGCARD / DC / UFJ / NICOS / VISA / MasterCard / JCB / AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング/PayPay 銀行/楽天銀行 / 住信 SBI ネット銀行/au じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続完了メールが届く。

【入学検定料に係わる注意事項】

1. 支払手続に関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページ「支払い方法」を参照して確認すること。
2. 支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
3. 支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは消去されるので注意すること。
4. 入学検定料の支払いが完了していない場合、「マイページ」から出願に必要な書類等は印刷できない。
5. クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。
6. クレジットカードでの支払いができない場合は、他のカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
7. 「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼し、必ず提出すること。
8. 誤って複数回検定料を支払ってしまった場合には、すみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)を確認すること。

①申請時期

各入学試験の出願期間開始日の一週間前の日まで

②提出書類

- ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

③注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ◇詳細は本学ホームページ上の「入試情報サイト」で確認すること。（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763

E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- (ア) 入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
 - (イ) 入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合（ただし、出願する学科・専攻において必要書類がない場合を除く）
 - (ウ) 入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが、大学入学共通テストにおいて本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合
- 返還金額は、上記（ア）と（イ）については全額とし、（ウ）については13,000円とする。

該当する場合の返還請求の方法は以下の通りである。

本学所定の用紙「検定料返還請求願」（学部・別科・修士・博士用）を本学「入試情報サイト」上、「各種様式」ページよりダウンロード・印刷し、必要事項を記入して、東京藝術大学財務会計課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）まで郵送すること。

(注)・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

- ・大学から志願者への返還金額は、振込手数料を差し引いた額である。
- ・検定料返還請求願受領後、返還金の振込みまで通常約2～3か月かかる。
- ・返還請求願の提出期限は、2025年3月31日（月）（消印有効）とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

3 必要書類の送付

必要書類の郵送は、入学検定料の支払完了後に行う。「マイページ」より該当書類及び「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

その封筒に出願する専攻に応じたすべての必要書類を入れて、出願期間内に書留・速達郵便で本学へ郵送すること。

なお、必要書類を印刷する際は、すべて A4 サイズの普通コピー用紙（白）を使用し、カラー印刷すること。

また、別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。

必要書類	要領等	備考
<p style="text-align: center;">① 大学入学共通テスト 成績請求票貼付用紙</p>	<p>大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙は「インターネット出願サイト」より印刷すること。大学入試センター所定の「令和7年度共通テスト成績請求票（国公立前期日程用）」をこの貼付用紙に貼ること。</p> <p>なお、紛失等により成績請求票の再交付を受けた場合は、再交付後のものをこの貼付用紙に貼ること。</p>	<p>全員提出 ※外国教育課程出身者特別入試の志願者および私費外国人留学生は提出不要</p>
<p style="text-align: center;">② 調査書</p>	<p>○高等学校もしくは中等教育学校卒業生及び卒業見込者 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により出身学校から調査書が得られない場合は、以下の書類を全て提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書 ・成績証明書 <p>【注1】成績証明書が発行できない場合には、単位習得証明書または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」を提出すること。</p> <p>【注2】廃校等により卒業証明書又は成績証明書が得られない場合には、出身学校を所管した教育委員会又は知事が作成したこれらの書類を提出すること。</p> <p>○高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。） 合格成績証明書（ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えること。） ※婚姻等により調査書等記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。</p>	<p>全員提出</p> <p>発行機関が厳封したもの。 ※ただし、発行機関が厳封の対応をしていない場合及び日本語訳作成のため開封が必要な場合は、厳封されていない調査書等の提出を認める。</p> <p>調査書、成績証明書等は、発行年月日は問わない。 ※ただし、既に高等学校等を卒業している者は卒業後に発行したものに限る。</p>

必要書類	要領等	備考
③ 声楽科 受験曲目提出用紙 〔声楽科志願者〕	左記の志願者は、所定の用紙に記入すること。	
④ 声楽科伴奏楽譜 〔声楽科志願者〕	<p>左記の志願者は、所定の用紙（課題選択曲および自由曲提出楽譜表紙貼付票）に記入し、「伴奏楽譜」表紙の上端に貼付して提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書留速達扱いとし、必要書類とは別便で同時郵送すること。伴奏楽譜以外の書類を絶対に同封してはならない。同封した場合は受験できないことがある。 ○ 伴奏楽譜の作成にあたっては「声楽科志願者に対する注意事項」（30 ページ）に従うこと。 ○ 別科（声楽専修）を併願する者は、別途伴奏楽譜を郵送すること。 	
⑤ ピアノ受験曲目提出用紙 〔ピアノ志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑥ チェロ曲目提出用紙 〔チェロ志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑦ 古楽受験曲目提出用紙 〔古楽志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑧ 邦楽科受験曲目提出用紙 〔邦楽科志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑨ 副科ピアノ受験曲目提出用紙 〔副科ピアノ受験対象者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑩ 志望理由書 〔音楽環境創造科志願者用〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
⑪ 古楽楽譜 〔古楽志願者〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要書類とは別便で、必要書類の郵送と同時に「書留速達」扱いで郵送すること。 ○ 楽譜の作成にあたっては、古楽「試験内容及び試験曲」古楽共通注意事項（53 ページ）に従うこと。 	
⑫ 邦楽科楽譜 〔邦楽科現代箏曲専攻志願者〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要書類とは別便で、必要書類の郵送と同時に「書留速達」扱いで郵送すること。 ○ 楽譜の作成にあたっては、現代箏曲第二回試験「試験内容及び試験曲」（58 ページ）に従うこと。 	任意様式

所定の用紙は「入試情報サイト」の「各種様式」ページよりダウンロードすること。
記入にあたっては楷書及び算用数字を用い、黒又は青のインクかボールペンで明記すること。

必要書類	要領等	備考
<p>⑬ 「日本留学試験」 成績確認書の写し 〔私費外国人留学生志願者〕</p>	<p>「日本留学試験」の受験者は、独立行政法人日本学生支援機構が発行する「成績確認書」を提出すること。 ※対象となる試験等の詳細については、7 ページを確認すること</p>	
<p>⑭ 民間英語資格・検定試験の スコア・等級を証明する書類 〔民間英語資格・検定試験の 活用志願者〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実用英語技能検定（英検）準 1 級以上取得者 ・合格証明書の写し ○ IELTS バンド 5.5 以上取得者 ・アカデミック・モジュール成績証明書（Test Report Form）の写し ○ TOEFL iBT 72 点以上取得者 ・Internet-based Test Examinee Score Report の写し ○ Cambridge English（ケンブリッジ英語検定） FCE（160～179）以上取得者 ・認定ステートメント（certifying statement） の写し <p>※出願時に提出したスコア・等級を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後に音楽学部学生募集係にて返却する。 ※スコア・等級を証明する書類は、必ず出願期間内に提出すること。 出願期間外に提出された場合は、受け付けない。 提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあるので注意すること。</p>	任意様式
<p>⑮ 出願資格を証明する書類 〔外国教育課程出身者特別入試 志願者〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本募集要項 5 ページ記載の「出願資格(1)」に該当する者 ・卒業（修了）証明書又は同見込み証明書 ・最終卒業（修了）学校の成績証明書 <p>※日本の高等学校に在学したことがある場合は、在学した学校長が作成した「調査書」を併せて提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本募集要項 5 ページ記載の「出願資格(2)」に該当する者 ・国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し（コピー）及び I B 最終試験 6 科目の成績評価証明書 ・ドイツ連邦共和国におけるアビトゥア資格を取得した者は、その資格証明書の写し ・フランス共和国におけるバカロレア資格を取得した者は、その資格証明書の写し <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>	

必要書類	要領等	備考
<p>⑮ 出願資格を証明する書類 〔外国教育課程出身者特別入試 志願者〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際 A レベル）（いずれも 3 科目以上で E 以上の評価を取得していること）を取得した者は、その資格証明書の写し ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア）を取得した者は、その資格証明書の写し 	任意様式
<p>⑯ 志望理由書 〔外国教育課程出身者特別入試 志願者用〕</p>	本募集要項 6 ページ記載の「外国教育課程出身者特別入試概要」「選抜方法等」に従い提出すること。	所定の用紙は「入試情報サイト」の各種様式」ページよりダウンロードすること。

【必要書類に係わる注意事項】

1. 書留郵便 1 通には 1 人分の書類のみをまとめること。出願者数名分の一括郵送はしてはならない。
2. 声楽科志願者は伴奏楽譜の中に、古楽志願者及び邦楽科現代箏曲志願者は楽譜の中に、他の必要書類を絶対に同封してはならない。同封した場合受験できないことがある。
3. 必要書類受理後はいかなる事情があっても曲目・選択科目等の変更は一切認めない。
4. 学部と別科を併願する場合は、（2 ページ参照）それぞれ出願登録して入学検定料を支払い、必要書類も別に作成し、学部、別科別々の封筒で提出しなければならない。
5. 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書（戸籍抄本等）を提出すること。
6. 日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。（公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。）
7. 提出された書類は基本的に返却しない。再発行不可能な証明書等の原本を本学に提出し、返却を希望する場合は、配達記録が残る手段（レターパック、簡易書留等）で返却するので、必要な料金の切手を貼った封筒等を必ず同封すること。

必要書類郵送に際して用意するもの	
封筒	市販の角型 2 号封筒（240mm×332mm）を各自で用意する。
封筒貼付用宛名シート	「マイページ」より印刷する。

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係

4 受験票の印刷

受験票は、出願受理後に「マイページ」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録されたメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズのコピー用紙（白色）にカラー印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参すること。本学からは郵送しない。

受験票の印刷可能開始日時
2025年2月14日（金）16：00以降

【受験票に係わる注意事項】

1. 受験票印刷後、記載内容について必ず確認すること。「インターネット出願サイト」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷可能日時になっても受験票が印刷できるようにならない場合は、2025年2月17日（月）までに音楽学部学生募集係へ連絡すること。（登録内容は「インターネット出願サイト」の「マイページ」にログイン後、「申込内容を確認する」で照会できる。）
連絡先：東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp
2. 試験当日はカラー印刷した受験票が必要となる。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
3. インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
4. 邦楽科の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、尺八（琴古流）・尺八（都山流）は尺八として、現代邦楽囃子（笛）・現代邦楽囃子（打楽器）は現代邦楽囃子として、通し番号で受験番号をふる。

5. 障害のある入学志願者の事前相談

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は、音楽学部学生募集係へ事前に連絡し、2024年12月17日（火）までに「受験上及び修学上の配慮申請書」に医師の診断書を添えて音楽学部学生募集係へ提出すること。その結果必要な場合には、志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者もすみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。なお、申請書及び診断書は本学入試情報サイトの「受験上の配慮申請」に掲載されている書式を用いること。

- 注) 1. 事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2か月）を要する場合があるため、早めに相談すること。
2. 特別な措置等は希望するすべての内容に対応できるとは限らない。

7. 試験科目一覧および合否判定方法・基準

試験科目	専攻実技等 (26頁～61頁参照) (注1, 2)	音楽に関する基礎能力検査 (62頁～64頁参照)(注1, 2)				副科実技等 (67頁～69頁参照)(注1, 2)				面接 (69頁参照) (注1, 2)	大学入学共通テスト (99頁(別表1)参照)(注1)		
		聴音書き取り	楽典	新曲視唱	リズム課題	副科ピアノ	副科ピアノ以外の副科実技	ピアノ新曲	和声		国語	外国語	地理歴史, 公民, 数学, 理科, 情報から1教科
学科等													
作曲科 (注3, 4, 7, 9)	第1回, 第2回, 第3回	○	○	○	○	○		△	△	○	○		
声楽科 (注3, 7, 9)	第1回, 第2回, 第3回	○	○	○ (注10)	○ (注10)	○				○	○		
器楽科	ピアノ (注3, 7, 9)	○	○	○	○					○	○		
	オルガン (注3, 7, 9)	○	○	○	○	○				○	○		
	弦楽 (注3, 7, 8, 9)	○	○	○	○	○				○	○		
	管打楽 (注3, 7, 8, 9)	○	○	○	○	○				○	○		
	古楽 (注3, 7, 8, 9)	○	○	○	○					○	○		
指揮科 (注3, 7, 9)	第1回, 第2回		○			○		○	○	○			
邦楽科 (注3, 4, 7, 8, 9)	第1回, 第2回		○					△	○	○			
楽理科 (注3, 5, 6, 7, 9)	第1回: 国語, 外国語 (注11) 第2回: 小論文 (含・口述諮問)	○	○	○	○	○ (注12)		○		□	□	□	
音楽環境創造科 (注5, 7, 9)	第1回: 学力検査(音楽) 第2回: 小論文								□ (注13)	□	□	□	

(注)

- 課せられた試験を1つでも受験しなかった者は不合格とする。
- 試験日時・試験曲等を間違えた者は不合格とする。
- 印で示す科目は最終合否判定に用い、得点が当該受験年度の基準点に満たない者は不合格とする。
- △印で示す科目の得点は最終合否判定に用いる。
- 印で示す科目の得点は第1次合否判定および最終合否判定に用いる。
- 楽理科の第1次合否判定および最終合否判定において、試験科目のうち1科目以上得点が0点である者は、合計点にかかわらず不合格とする。
- 最終合否判定では各試験科目および調査書を総合的に判断する。
- 最終合否判定では専攻内における楽器種の人数のバランスを考慮することがある。
- 合否判定における順位付けは次頁の表に定める方法で行う。
- 声楽科の新曲視唱, リズム課題は第3回専攻実技試験の(1)Chorübungen に引き続き行う。
- 楽理科の国語, 外国語は大学入学共通テストとは別に行う。
- 楽理科志願者が副科ピアノ以外の副科実技を選択した場合は, 副科ピアノを受験する必要はない。
- 音楽環境創造科の面接は表現を含む。(61頁参照)

(注9 関係) 合否判定における順位付けについて

合否判定		第1～3次合否判定	最終合否判定
学科等			
作曲科		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [16点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [16点] の高得点順 第3次合否判定：第3回専攻実技試験 [16点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [16点]，第2回専攻実技試験 [16点]， 第3回専攻実技試験 [16点] の合計点 [48点] の高得点順
声楽科		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [50点換算]，第2回専攻実技試験 [100点]， 第3回専攻実技試験(1) Chorübungen [20点] の合計点 [170点] の高得点順
器楽科	ピアノ	第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順
	オルガン	第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点]，第2回専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順
	弦楽	第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] および第2回 専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点]，第2回専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順
	管打楽	第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点]，第2回専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順
	古楽	第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順
指揮科		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点]，第2回専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順
邦楽科		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 第2次合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順	第1回専攻実技試験 [100点]，第2回専攻実技試験 [100点] の合計点 [200点] の高得点順
楽理科		第1次合否判定：大学入学共通テスト（国語）[200点]，大学 入学共通テスト（外国語）[200点換算]，大学入学共通テスト （地理歴史，公民，数学，理科，情報のうち1教科）[100点]， 国語 [300点]，外国語 [300点] の合計点 [1100点] の高得 点順	第1次合否判定の得点 [1100点]，聴音書き取り [100点]，楽 典 [100点]，新曲視唱 [50点]，リズム課題 [50点]，副科ピ アノまたは副科ピアノ以外の副科実技[100点]，和声[200点]， 小論文含・口述試問 [300点] の合計点 [2000点] の高得点 順
音楽環境創造科		第1次合否判定：大学入学共通テスト（国語）[200点]，大学 入学共通テスト（外国語）[200点換算]，大学入学共通テスト （地理歴史，公民，数学，理科，情報のうち1教科）[100点]， 学力検査 [200点] の合計点 [700点] の高得点順	第1次合否判定の得点 [700点]，小論文 [100点]，面接 [200 点] の合計点 [1000点] の高得点順

8. 試験日程・試験場

1. 試験日程

各学科の試験は入学試験実施日程表（別表2）（102ページ）のとおり実施する。
なお、第1回試験の日程等に関しては、本学「入試情報サイト」で発表する。

※本学では追試験は実施しない。

2. 試験場

試験は全学科、東京藝術大学音楽学部（東京都台東区上野公園12-8）において実施する。

試験場（東京藝術大学音楽学部）案内図



〔交通機関〕 (J R) 山手線・京浜東北線 上野駅（公園口）・鶯谷駅下車 徒歩約10分
(東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
千代田線 根津駅下車 徒歩約15分
(京成電鉄) 京成上野駅下車徒歩15分

3. インフルエンザ等罹患者への対応について

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

9. 入学者選抜試験個人成績の開示について（合格者は除く）

2025 年度一般選抜入学試験の個人成績を本人に限って開示する。

外国教育課程出身者特別入試及び私費外国人留学生入試の個人成績は開示しない。

希望者は、次の方法により申し込むこと。

(1) 申込者

受験者本人に限る。（代理人による申し込みは認めない。）

(2) 申込期間

2025 年 5 月 1 日（木）から 2025 年 5 月 30 日（金）

(3) 成績開示手数料

500 円

※別途振込手数料が必要となる。

(4) 申込方法

後日、本学入試情報サイトに掲載する。

(5) 開示内容

① 試験成績【得点】

大学入学共通テストの成績を科目ごとに開示する。

② 試験成績【順位】

第一次試験，第二次試験，第三次試験（作曲），及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示する。

ただし、各楽器等種類ごとの各合格者数が、少数（10 人程度以下）の場合は開示しない。

③ 最終次試験不合格者には、総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に限りその科目名を開示する。

④ 調査書（「指導上参考となる諸事項」，「備考」欄は除く）

(6) 問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部学生募集係

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 e-mail : music.admissions@ml.geidai.ac.jp

10. 試験内容及び試験曲

ア. 専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
作曲	◎作曲科共通注意事項 第1回, 第2回試験は共通試験となるが, 第3回試験は専攻によって(作曲専攻, エクリチュール専攻)試験内容が異なるので注意すること。	
		第一回 与えられたバス及びソプラノの声部により, それぞれ4声体の和声を作る。(各3時間)
		第二回 (1) 厳格対位法: 与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各1題を作る。(3時間) (2) 与えられたコラール旋律により, バッハ様式で4声コラール1題を作る。(2時間)(計5時間)
	作曲 エクリチュール	第三回 <作曲専攻> 与えられた主題, 指定された形式(*), 編成により楽曲を完成する。なお楽器編成は下記から指定する。 フルート, オーボエ, クラリネット, ファゴット, ホルン, ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, ピアノ (8時間。ただし, 途中昼食休憩の1時間を別に設ける。) *変奏曲, ロンド, ソナタ等の形式 ※形式及び楽器編成については当日指定する。 <エクリチュール専攻> (1) 総譜初見視奏と移調奏 (2) ピアノによる数字付き低音の和声付け (3) 楽器奏者の演奏する旋律課題のピアノ伴奏付け

【例題】

1. 厳格対位法

1. 次の定旋律(バス譜表)上に, テノール, アルト, ソプラノいずれかの音部記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。

それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。

尚, 定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. 次の定旋律(ソプラノ譜表)を高声部として, 3声の華麗対位法を作成せよ。

尚, 対旋律は, バス, テノール, アルトのいずれかの音部記号を用いること。

定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. コラール

次のコラール旋律をバス, テノール, アルト記号を用いて, 四声体で作成せよ。

Choral



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
声		課題選択曲	
		A. 日本歌曲	
		1. 小松耕輔 母	
		2. 瀧廉太郎 秋の月 [山田耕筰編曲]	
		3. 瀧廉太郎 荒城の月 (第1節, 第2節のみ) [山田耕筰編曲]	
		4. 團伊玖磨 秋の野「六つの子供のうた」より	
		5. 團伊玖磨 からりこ「六つの子供のうた」より	
		6. 中田喜直 おやすみ「六つの子供の歌」より	
		7. 成田為三 浜辺の歌 (第1節, 第2節のみ)	
		8. 信時潔 北秋の「沙羅」より	
		9. 信時潔 行々子「沙羅」より	
		10. 平井康三郎 平城山	
		ソプラノ (S)	11. 平井康三郎 ゆりかご
		12. 弘田龍太郎 浜千鳥 (第1節, 第2節のみ)	
		13. 山田耕筰 鐘が鳴ります	
14. 山田耕筰 かやの木山の			
15. 山田耕筰 この道 (第1節, 第2節のみ)			
テノール (T)	B. 外国曲・イタリア		
1. Bellini, V. Il fervido desiderio			
2. Bellini, V. Vaga luna, che inargenti			
3. Bononcini, G. Per la gloria d'adorarvi			
4. Caldara, A. Sebben crudele			
5. Caldara, A. Selve amiche			
6. Gasparini, F. Caro laccio			
7. Gasparini, F. Lasciar d'amarti			
8. Giordani, T. Caro mio ben			
9. Paisiello, G. Nel cor più non mi sento			
10. Scarlatti, A. Già il sole dal Gange			
11. Scarlatti, A. Le violette			
12. Scarlatti, A. Sento nel core			
13. Scarlatti, A. Se tu della mia morte			
14. Tosti, F. P. L'ultimo bacio			
15. Tosti, F. P. Sogno			

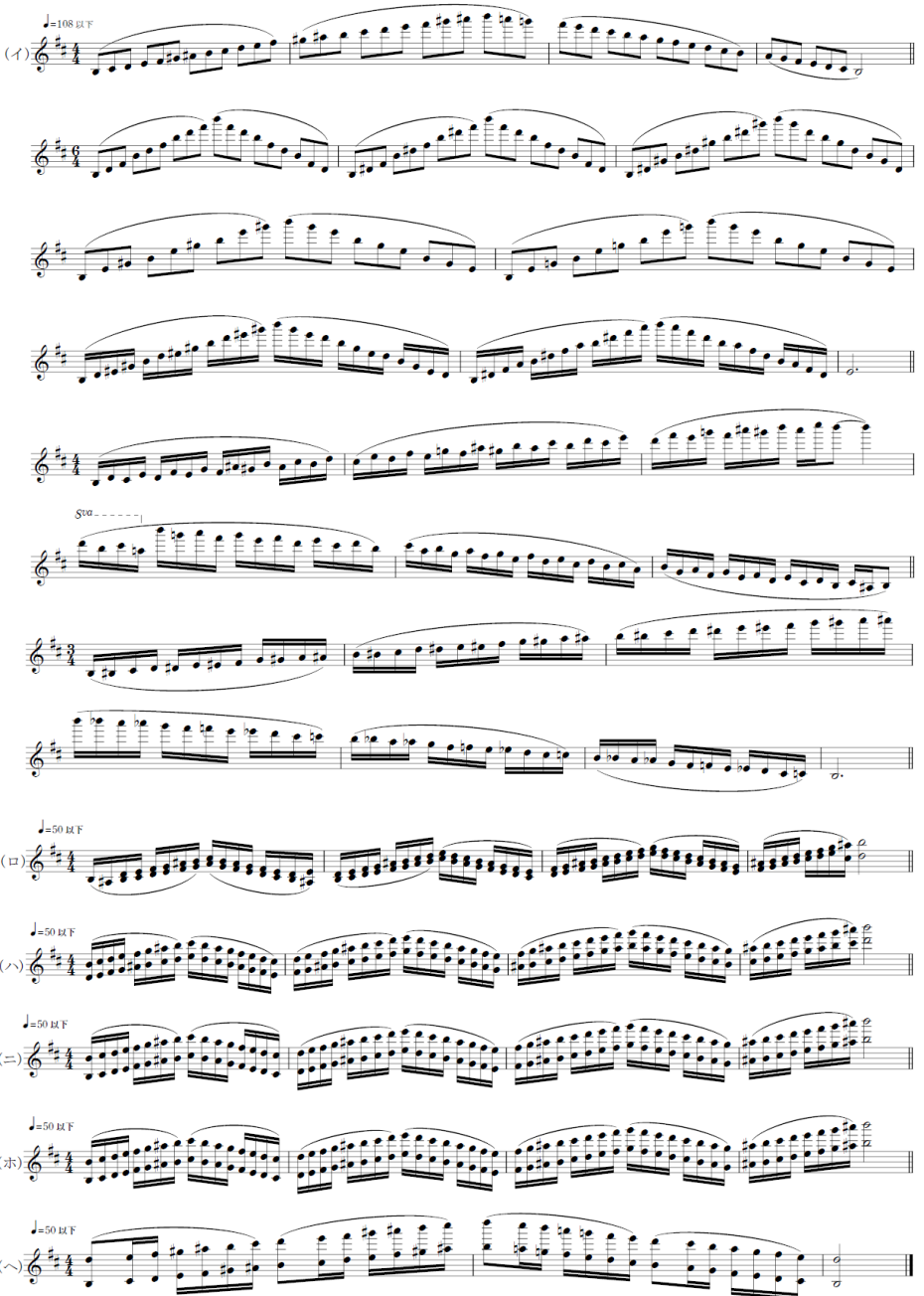
(次ページに続く)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
声		<p>B. 外国曲・ドイツ</p> <p>16. Beethoven, L.v Ich liebe dich so wie du mich WoO 123</p> <p>17. Brahms, J. Dein blaues Auge Op. 59-8</p> <p>18. Mendelssohn, F. B. Auf Flügeln des Gesanges Op. 34-2</p> <p>19. Mozart, W. A. An Chloë KV 524</p> <p>20. Mozart, W. A. Das Veilchen KV 476</p> <p>21. Schubert, F. An die Musik Op. 88-4</p> <p>22. Schubert, F. Frühlingsglaube Op. 20-2</p> <p>23. Schumann, R. Die Lotosblume Op. 25-7</p> <p>24. Schumann, R. Du bist wie eine Blume Op. 25-24</p> <p>25. Wolf, H. Verborgenheit Mörike-Lieder 12.</p>
	<p>ソプラノ (S)</p> <p>アルト (メゾソプラノを含む) (A)</p> <p>テノール (T)</p> <p>バス (バリトンを含む) (B)</p>	<p>B. 外国曲・フランス</p> <p>26. Berlioz, H Villanelle</p> <p>27. Debussy, C. Beau soir</p> <p>28. Debussy, C. Nuit d'étoiles</p> <p>29. Fauré, G. Clair de lune</p> <p>30. Fauré, G. Ici-bas !</p> <p>31. Fauré, G. Lydia</p> <p>32. Fauré, G. Mai</p> <p>33. Fauré, G. Notre amour</p> <p>34. Gounod, Ch. Chanson de printemps (第1節, 第3節のみ)</p> <p>35. Hahn, R. Si mes vers avaient des ailes</p>
楽		<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p><u>日程揭示に関する注意事項</u></p> <p>2025年2月14日(金) 14:00以降に第1回試験の日程(各声種・受験番号の試験日付のみ)を本学入試情報サイトで発表する。集合時刻と試験時刻は2月24日(月)に発表する。</p> </div> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
声		<p>声楽科志願者に対する注意事項</p> <p>1. 試験内容及び試験曲について</p> <p>(1) 第1回A. およびB. の課題選択曲ともいずれの調で演奏しても良い。B. 外国曲の課題選択曲は原語歌詞により演奏すること。 第2回自由曲は、歌曲（および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること（ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く）。</p> <p>(2) 志願者の演奏に与えられる時間は、次のとおりである。 第1回試験2曲合わせて4分以内 第2回試験4分以内</p> <p>試験官の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(3) 伴奏楽器はピアノとし、楽器および伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。</p> <p>(4) 志願者は、出願時に提出する「<u>受験曲目提出用紙</u>」の写し（コピー）を、<u>試験当日持参すること</u>。</p> <p>(5) 男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する専攻（声種）に出願すること。</p> <p>2. 伴奏楽譜について</p> <p>(1) 志願者は、選択した第1回課題選択曲および第2回自由曲のピアノ伴奏用の楽譜を、出願時に提出すること。伴奏者は提出された楽譜を使用するので、調性等に誤りがないか確認し、(2)によく留意して体裁を整えること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。</p> <p>(2) 提出する楽譜は、次の要領により整えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜の大きさは、1ページA4縦とする。 ・ 楽譜には声部に加え、ピアノ伴奏部と歌詞が記載されていること。手書きの場合には、黒のペンまたはボールペンで清書すること。 ・ 楽譜は1冊に合本せず1曲ごとに製本し、1頁目のウラにA4サイズの画用紙程度の厚さの表紙をつけ、必要事項を記入した「提出楽譜表紙貼付票（入試情報サイトからダウンロード）」を表紙の上端に貼付すること。 ・ 楽譜は伴奏者が見やすく、めくりやすくするために折本仕立て（下図参照）にして、各頁を全開できるように製本すること。 <p style="text-align: center;">(4頁の楽譜の場合)</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">↑ 楽譜のつなぎ目をテープ等で貼る ↑ 1頁目ウラに表紙をつける</p> </div> <p>(3) 楽譜の提出に当たっては、当該楽譜のみ「音楽学部声楽科伴奏楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に「書留速達郵便」により郵送すること。封筒裏面に志願者の氏名、声種および5桁の整理番号（登録情報確認書の右下に記載されている番号）を必ず記入すること。この封筒内に、伴奏楽譜以外の必要書類を絶対に同封しないこと。同封した場合には、受験できないことがある。</p>
楽		

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	鍵盤 盤 楽 器	ピ ア ノ (P f)	第 一 回	<p>A. Beethoven: ピアノ・ソナタより任意の1曲を選択し、第1楽章を演奏する。 ただし、次の作品については、第1楽章と第2楽章を演奏する。 Op. 27-1, Op. 27-2, Op. 101, Op. 109</p> <p>B. Chopin: 練習曲より以下の10曲から2曲を選択し、計2曲を演奏する。演奏順は自由とする。 Op.10-1, Op.10-2, Op.10-7, Op.10-10, Op.10-11 Op.25-4, Op.25-6, Op.25-8, Op.25-10, Op.25-11</p> <p>1) 演奏はすべて暗譜とする。 2) 8小節までの繰り返しは自由とする。 それ以上の繰り返しは省略する。 3) 当日時間の都合により一部省略させることがある。 4) A, Bの曲順は自由とする。</p>
				第 二 回
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;"><u>日程掲示に関する注意事項</u></p> <p>2025年2月14日(金) 14:00以降に第1回試験の日程(各受験番号の試験日付のみ)を本学入試情報サイトで発表する。集合時刻と試験時刻は2月24日(月)に発表する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;"><u>ピアノ課題曲に関する注意事項</u></p> <p>入学者選抜試験課題曲は毎年度変更される可能性がある。 10月に公表する課題曲を必ず確認すること。</p> </div>				







科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲																																																																																										
器 楽 器	鍵盤 楽 器	オルガン (Org)	<p>専攻実技試験で使用するオルガンの仕様</p> <table border="0"> <tr> <td>Pedal (C-f)</td> <td></td> <td>13.Krummhorn</td> <td>8'</td> <td>26. Nasard</td> <td>2⅓'</td> </tr> <tr> <td>1. Subbass</td> <td>16'</td> <td>14. Tremulant</td> <td></td> <td>27. Superoktav</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>2. Principalbass</td> <td>8'</td> <td>15. I/P</td> <td></td> <td>28. Mixtur</td> <td>4f</td> </tr> <tr> <td>3. Rohrpommer</td> <td>8'</td> <td>16. II/P</td> <td></td> <td>29. Trompete</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>4. Choralflöte</td> <td>4'</td> <td>17. III/P</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. Piffaro</td> <td>2f</td> <td>18. III/I</td> <td></td> <td>(III) Schwellwerk (C-g³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. Dulcian</td> <td>16'</td> <td>19. I/II</td> <td></td> <td>30. Rohrflöte</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20. III/II</td> <td></td> <td>31. Salicional</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>(I) Brustwerk (C-g³)</td> <td></td> <td>(II) Hauptwerk (C-g³)</td> <td></td> <td>32. Vox coelestis</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>7. Holzgedackt</td> <td>8'</td> <td>21. Quintade</td> <td>16'</td> <td>33. Principal</td> <td>4'</td> </tr> <tr> <td>8. Spillpfeife</td> <td>4'</td> <td>22. Principal</td> <td>8'</td> <td>34. Blockflöte</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>9. Principal</td> <td>2'</td> <td>23. Gemshorn</td> <td>8'</td> <td>35. Sesquialtera</td> <td>2f</td> </tr> <tr> <td>10. Terz</td> <td>1⅓'</td> <td>24. Oktav</td> <td>4'</td> <td>36. Scharff</td> <td>3f</td> </tr> <tr> <td>11. Oktav</td> <td>1'</td> <td>25. Holztraverse</td> <td>4'</td> <td>37. Hautbois</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>12. Cymbel</td> <td>3f</td> <td></td> <td></td> <td>38. Tremulant</td> <td></td> </tr> </table> <p>[演奏補助装置] Handregister + 2 Freie Kombinationen, Zungen ab, Mixtur ab (Klais 社製)</p>	Pedal (C-f)		13.Krummhorn	8'	26. Nasard	2⅓'	1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'	2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f	3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'	4. Choralflöte	4'	17. III/P				5. Piffaro	2f	18. III/I		(III) Schwellwerk (C-g ³)		6. Dulcian	16'	19. I/II		30. Rohrflöte	8'			20. III/II		31. Salicional	8'	(I) Brustwerk (C-g ³)		(II) Hauptwerk (C-g ³)		32. Vox coelestis	8'	7. Holzgedackt	8'	21. Quintade	16'	33. Principal	4'	8. Spillpfeife	4'	22. Principal	8'	34. Blockflöte	2'	9. Principal	2'	23. Gemshorn	8'	35. Sesquialtera	2f	10. Terz	1⅓'	24. Oktav	4'	36. Scharff	3f	11. Oktav	1'	25. Holztraverse	4'	37. Hautbois	8'	12. Cymbel	3f			38. Tremulant	
			Pedal (C-f)		13.Krummhorn	8'	26. Nasard	2⅓'																																																																																					
			1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'																																																																																					
2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f																																																																																								
3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'																																																																																								
4. Choralflöte	4'	17. III/P																																																																																											
5. Piffaro	2f	18. III/I		(III) Schwellwerk (C-g ³)																																																																																									
6. Dulcian	16'	19. I/II		30. Rohrflöte	8'																																																																																								
		20. III/II		31. Salicional	8'																																																																																								
(I) Brustwerk (C-g ³)		(II) Hauptwerk (C-g ³)		32. Vox coelestis	8'																																																																																								
7. Holzgedackt	8'	21. Quintade	16'	33. Principal	4'																																																																																								
8. Spillpfeife	4'	22. Principal	8'	34. Blockflöte	2'																																																																																								
9. Principal	2'	23. Gemshorn	8'	35. Sesquialtera	2f																																																																																								
10. Terz	1⅓'	24. Oktav	4'	36. Scharff	3f																																																																																								
11. Oktav	1'	25. Holztraverse	4'	37. Hautbois	8'																																																																																								
12. Cymbel	3f			38. Tremulant																																																																																									
第一回	<p>(A) J. S. Bach “Orgelbüchlein”より次の曲から当日指定する。 BWV601, BWV605, BWV609, BWV614, BWV617 BWV620, BWV622, BWV625, BWV627, BWV630 BWV632, BWV633, BWV638, BWV643, BWV644</p> <p>(B) D. Buxtehude : Präludium in fis, BuxWV 146</p>																																																																																												
第二回	<p>(A) J. S. Bach : Präludium und Fuge in f, BWV 534</p> <p>(B) F. Mendelssohn-Bartholdy: Sonate No.1 f-moll 1, 3, 4 楽章</p>																																																																																												
<p>(注1) 第一回(B)の D. Buxtehude : Präludium in fis, BuxWV 146 は暗譜演奏とする。</p> <p>(注2) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある</p> <p>(注3) 各課題曲のレジストレーションについては、レジスタータイムに標準的なものを大学側が示すので、適宜参考にしてもよい。</p>																																																																																													

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階</p> <p>カール・フレッシュ:スケール・システム(Carl Flesch: Scale System)より ロ短調(h-moll)で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を下記に参照し、 譜例の通り演奏すること。</p> <p>(イ)音階、分散和音、分散3度、半音階 (ロ)3度の重音 (ハ)6度の重音 (ニ)8度の重音 (ホ)フィンガード・オクターヴ (ヘ)10度の重音 ※すべてレガートとし、スラーは譜例に従うこと。フィンガリングは自由とする。</p>  <p>第一回</p>
	楽	<p>ヴァイオリン (Vn)</p> <p>第一回</p> <p>(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオリン (Vn)	第一回	<p>(B) N.Paganini:24 のカプリース Op.1 から 第 9 番 ホ長調 第 18 番 ハ長調</p> <p>上記の 2 曲から任意の 1 曲を選択すること ※第 18 番の繰り返しはなし。ダ・カーポはあり。</p> <p>(注)演奏は(A)(B)の順とする。すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	楽			第二回

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階</p> <p>音階 Carl Flesch:Scale System(ヴァイオラ用に編曲された版) より ニ短調 (d-moll) で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を下記を参照し、 譜例の通り演奏すること。</p> <p>(イ) 音階, 分散和音, 分散3度, 半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p> <p>※すべてレガートとし、スラーは譜例に従うこと。フィンガリングは自由とする。</p> <p>♩=108以下</p>  <p>第一回</p> <p>ヴァイオラ (V a)</p> <p>楽</p> <p>♩=40以下</p>  <p>(次ページに続く)</p>
	楽	

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴィオラ (Va)	第一回	<p>(B) Campagnoli : 41 Caprices Op.22 より No.31 Presto ※使用する楽譜の版は特に指定しない。但し、第 35 小節と第 36 小節において E で表記されている音符がある場合、Es で演奏すること。</p> <p>(C) J. S. Bach : 無伴奏チェロ組曲第 3 番ハ長調 (C-dur) BWV1009 (ヴィオラ用に編曲された版) より Allemande ※繰り返しは無しとする。 使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) (C) の順とする。</p>
楽	楽		第二回	<p>(A) Reger : 無伴奏組曲第 1 番 ト短調 (g-moll) Op.131d, Nr.1 より 第 1 曲 : Molto sostenuto ※Henle 版を使用すること。</p> <p>(B) C.Stamitz : Viola concerto No.1 ニ長調 (D-dur) より 第 1 楽章 Allegro (カデンツァは無し) ※Henle 版を使用すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 (B) はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 楽	弦 チ エ 口 (V c)	第 一 回
	楽 楽	<p>(A) 音階：チェロのためのスケールとアルペッジョ イ長調(A-dur) 譜例参照のこと</p> <p>A-Dur</p> <p>♩=100前後</p> <p>(イ) </p> <p>(ロ) </p> <p>(注)テンポは自由</p> <p>(ハ) </p> <p>♩=60前後</p> <p>(ニ) </p> <p>♩=60前後</p> <p>(ホ) </p> <p>♩=60前後</p> <p>(ヘ) </p> <p>(B) Duport: 21 の練習曲より任意の 1 曲 ※ただし、no.3 (C major)、no.5(c minor)、no.7(g minor)、 no.19(B major)を除く ※使用する楽譜の版は特に指定しない</p> <p>(注) すべて暗譜とし、繰り返しはなしとする。 時間の都合により一部省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階 嬰ハ短調 (cis moll)</p> <p>cis-moll</p> <p>♩=52-60</p> 
	コントラバス (Cb)	<p>第一回</p>  <p>(次ページに続く)</p>


科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	弦		<p style="text-align: center;">第一回</p> <p>(B) Progressive Etüden für Kontrabass (Doblinger 版 Otto Rühm 編を使用すること) Heft 2 より No.48 Moderato</p> <p>(C) サン＝サーンス：動物の謝肉祭より「象」 (伴奏はなし。楽譜が必要な場合は、本学で用意する。)</p> <p>(注) ノーマルチューニングで演奏すること。 (A) (B) (C) の順で、全て暗譜で演奏すること。 楽器の貸与はしない。 フィンガリングは自由とする。 時間の都合により一部を省略することがある。</p>
	楽	コントラバス (C b)	<p style="text-align: center;">第二回</p> <p>(A) J.S.Bach 無伴奏チェロ組曲第2番より Menuetto I, II (PETERS 版 S.Sterling 編を使用すること。繰り返しは無し、D.C.は有り。アーティキュレーション、ボーイングは自由。)</p> <p>(B) D.Dragonetti : Concerto イ長調より 第1楽章 Allegro Moderato (INTERNATIONAL 版 S.Sankey 編を使用すること。但し、ノーマルチューニングによりト長調で演奏すること。ノーマルチューニング用伴奏譜の希望があれば、本学で用意する。)</p> <p>(注) 暗譜で演奏すること。 (B) はピアノ伴奏付きで演奏すること。 伴奏者は本学で用意する。 伴奏合わせは、試験直前に行う。 楽器の貸与はしない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>


科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦	ハ ー プ (Hp)	第一回	<p>(A) Bach-Grandjany : 12 Etudes for harp, Op.45 より第3番</p> <p>(B) M.Grandjany : Children's Hour Op.25 より 第1曲 "Into Mischief" ※Presto の3小節後の終止線までを演奏する。</p> <p>(C) J.Ibert : Six pièces pour harpe a pédales より Scherzetto</p> <p>(注)全て暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) (C) の順とする。</p>
	楽			



科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎フルート注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。短調では旋律短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。</p> <p>(例)</p>  <p>(2) A.B.Fürstenu : 24 Etüden für Flöte より No.15, 17, 18 より当日指定する。</p> <p>(3) J.S.Bach : BWV 1013 より Sarabande</p> <p>繰り返しなし。任意の強弱。スラーを付けてもよい。 trill 以外の装飾音をつけてはならない。 (2)(3)は楽譜を使用してもよい。</p>
	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) F.Kublau : Introdakution und Variationen über ein Thema aus Carl Mariavon Weber "Euryanthe" für Flöte und Klavier op. 63 (Ver. I, Ver.IVはカット)</p> <p>(注)全て暗譜とする。課題曲には、ピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) 次の a) ~ g) の中より任意の 1 曲を演奏すること。 楽譜を使用してよい。</p> <p>a) L. Berio : Sequenza I b) E. Bozza : Image c) C. Halffter : Debra (6分以内にカットすること) d) P. Hindemith : 8 Stücke より 1, 2, 3, 5, 6, 8 e) 一柳慧 : 忘れえぬ記憶の中に f) S. Karg-Elert : Sonata "Appassionata" g) I. Yun : Etüden für Flöte(n) solo より Nr. 5</p>


科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎オーボエ注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合があります。</p> <p>第一回</p> <p>(1) 音階 《新版：サクソフォーンのためのトレーニングブック》 (須川展也編，音楽之友社) P. 55, P. 56 の音型を用い，スラーで演奏すること。繰り返しなし。 テンポは♩=112 以上とする。演奏する調は当日指定する。 短調では和声短音階，旋律短音階ともに演奏する。 暗譜で演奏すること。</p> <p>(2) F. W. Ferling : 48 Übungen op. 31 für Oboe (全音楽譜出版社版が好ましい) No. 6, 11, 12, 18, 19, 29, 32 より当日指定する。</p> <p>(3) G.P. Telemann : Zwölf Fantasien für Flöte solo より Fantasia 10. TWV 40:11 (Henle 版が好ましい) 暗譜で演奏すること。 繰り返しのある楽章は前半のみ繰り返す。 フレージング・装飾は時代様式に沿ったものを受験者任意でつけること。</p>
	楽	楽	管





科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎クラリネット注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※暗譜の指定のないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>※反復記号、D. S., D. C.などによるリピートは省略すること。</p> <p>※すべての課題をB♭管のソプラノクラリネットで演奏すること。</p>
			<p>第一回</p> <p>(1) 音階および分散和音 下記の例を参考にして、いずれも当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。 短調では旋律短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。</p> <p>(音階例)</p>  <p>(分散和音例)</p>  <p>(2) C. Rose : 32 Etudes (Alphonse Leduc 版または全音楽譜出版) より No. 13, 14, 15, 16, 18, 21, 23, 26, 28, 29, 31, 32</p> <p>(3) E. Cavallini : 30 Capricci (Ricordi 版) より No. 13, 22, 24, 29</p> <p>(注) (2)(3)とも演奏箇所は当日指定する。</p>
楽	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) C. M. v. Weber : Concertino Op. 26 (カデンツァを含めない) 暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。 ピアノ伴奏は7小節目から演奏を始め、112~124小節の間奏部分はカットする。出版社の指定はないが、演奏する小節数はBreitkopf版に準ずるものとする。</p> <p>(2) a) F. Héau : 30 études d'après J.-S. Bach volume 1 (Gérard Billaudot 版) より No. 4. Bourrée Anglaise</p> <p>b) C. Rose : 40 Etudes (全音楽譜出版) より No.36</p> <p>c) G. Jacob : Five Pieces for solo clarinet (Oxford University 版) より No.2. Waltz, No.5. Scherzo and Trio</p> <p>上記 a), b), c) から、ひとつを選んで演奏すること。</p>



科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎ファゴット注意事項</p> <p>※暗譜の指定のないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
	打	ファゴット (Fg)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。短調では旋律短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。</p> <p>(例)</p>  <p>(2) J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No.1~No.21の中から当日指定する。 繰り返しなしで演奏すること。</p>
楽	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) K. Stamitz : Konzert F-dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski 版) カデンツァあり 暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No.22~No.43より任意の1曲を演奏すること。</p>





科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	管	サクソフォーン (S x)	<p>◎サクソフォーン注意事項</p> <p>※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
	打		<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして音域内で、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。短調では和声短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。 (例) ♩ = 92 </p> <p>(2) Ferling : 48 etudes (Leduc 版) No.1,4,7,8,9,10,14,15,18,19,21,22,23,26,30,31,35,36, 40,41,49,50,53,58 より当日指定する。</p> <p>(3) P. Creston : Sonata 第1楽章 (Shawnee 版)</p>
楽	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) A. Glazounov et A. Petiot : Concerto en mi bémol (Leduc 版) より練習番号 1 から 16 まで暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) a) P. Bonneau : Caprice en forme de Valse (Leduc 版) b) P. Creston : Sonata 第3楽章 (Shawnee 版) c) A. Désenclos : Prélude, Cadence et Finale より Prélude, Cadence (Leduc 版) d) J. Ibert : Concertino da Camera 第2楽章 28 Animato molto から終わりまで (Leduc 版) e) R. Boutry : Divertimento 第2, 3楽章 (Leduc 版) f) J. Rueff : Sonate 第1楽章 (Leduc 版) 上記 a) ~ f) の中から、ひとつを選んで演奏すること。</p> <p>(3) 初見視奏</p>

科	専 攻 (声種・楽器等)	試 験 内 容 及 び 試 験 曲	
器	管 金	ホ ル ン (H r)	<p>◎ホルン注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p>
			<p>(1) 音階 全ての調（長調・スラー有または無）の中から当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。楽譜は使用して良い。 (例)</p>  <p>第一回</p> <p>音階の音域は次の範囲内とする。</p>  <p>(2) Kopprasch : Sixty Selected Studies for French Horn, book 1, 2 (Carl Fischer 版に限る) より A) 6, 8, 15 演奏箇所は当日指定する (暗譜で演奏すること)。 B) 9, 12, 16, 19, 21, 22, 24, 25, 27, 28, 45 (楽譜を使用してよい)。 注) 全て in F で演奏。リピートなし。演奏箇所は当日指定する。</p> <p>(3) Georges Barboteu : 5 Pieces Poetiques en Fa (Editions Choudens) G.バルボトゥー:5つの詩的な小品 へ長調 (Editions Choudens) より I. V の中から演奏箇所は当日指定する。 楽譜は使用してよい。</p>
			<p>第二回</p> <p>(1) W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr. 4 Es-Dur K.495 (版指定なし) より 第1楽章 (カデンツァなし) 楽譜を使用してもよい。演奏箇所は当日指定する。 試験ではピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) 初見視奏</p>
<p style="text-align: center;"><u>2026年度音楽学部入試 ホルン課題曲に関する予告</u></p> <p>以下のエチュードが加わります。</p> <p>J-F.Gallay : 22 Fantasies Mélodiques Op.58 (International Music Diffusion 版) ジャック＝フランソワ・ギャレ : 22 の旋律的幻想曲 作品 58</p>			

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	金	<p>◎トランペット注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>※当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p> <p>(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階 P.65~P.80, 短音階 P.81 第 70~81 番まで 上記の中より当日指定する。 (注) 長音階第 16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69 番は 除く。</p> <p>第一回</p> <p>(2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (全音楽譜出版社版) (P.7~P.33) 第 10 番~第 44 番の中より当日指定する。</p> <p>(3) Théo Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes Pour Trompette, Cornet à Pistons ou Bugle Si ♭ Nouvelle édition (Leduc 版) No.1, 2, 4, 5 より 当日指定する。</p>
	打	管	<p>トランペット (Tp)</p> <p>(1) Eugène Bozza : RUSTIQUES (Leduc 版) Leduc 版の B♭ 管トランペット用パート譜 (Cornet ou Trompette Si ♭) のうち、以下の 2 か所をそれぞれ指示どおりに演奏すること。</p> <p>・ 3 ページ上から 6 段目</p>  <p>※ピアノ伴奏譜, C 管用パート譜に記載の ossia のとおりに演奏する。</p> <p>・ 3 ページ下から 2 段目の 5 小節目</p> <p>Tempo 1^o</p>  <p>※C 管用パート譜に準じ、記譜 G♯ (実音 F♯) ではなく記譜 G♭ (実音 F♮) を演奏する。</p> <p>(2) 初見視奏 (注) B♭ 管トランペットを使用すること。</p> <p>第二回</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	管 金	<p>◎テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※暗譜を指定されたもの以外は、当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p>	
		<p>テナー・トロンボーン (TTb)</p>	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 全ての調(長調, 短調「自然, 和声, 旋律」)の中から当日指定する。但し, 下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。 (例) </p> <p>(2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分  第7ポジションまで演奏のこと。 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.11 の No.2.1 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.9, 14, 18, 19, 20, 24, 26, 32, 34, 45, 49 (注) (4)の演奏箇所は当日指定する。リピートは不要。</p>
	打 楽 管	<p>バス・トロンボーン (BTb)</p>	<p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concertino in E♭, op.4 (Zimmermann 版) より 第1, 第2楽章 (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。 試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p> <p>第一回</p> <p>(1) 音階 全ての調(長調, 短調「自然, 和声, 旋律」)の中から当日指定する。但し, 下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。 (例) </p> <p>(2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分  第7ポジションまで演奏のこと。 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.11 の No.2.1 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より No.8, (9), (16), 18, (19), 26, (37), 39, 56, 58, 59 (注) (4)の演奏箇所は当日指定する。 (4)の()の曲は1オクターブ下げて演奏すること。他は記譜通り。 リピートは不要。</p> <p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone (Zimmermann 版) より第1, 第2楽章 (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。 試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	管金	<p data-bbox="327 273 518 728">ユーフォニアム (Euph)</p> <p data-bbox="550 273 1436 392">◎ユーフォニアム注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※暗譜を指定されたもの以外は、当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p> <p data-bbox="550 392 1436 952">第一回 (1) 音階 全ての調(長調, 短調「自然, 和声, 旋律」)の中から当日指定する。 但し, 下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。 (例)  (2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分  (注) 暗譜で演奏のこと。トロンボーンに準ずる。 (3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.10~No.39 (No.34 は除く) より, 当日指定する。 リピートは不要。</p> <p data-bbox="550 952 1436 1120">第二回 P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc 版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) どちらの版でもよい。 (注) 暗譜とする。カデンツァは記譜通りの音で演奏すること。 試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p>
		楽管

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	管 打打 (Pc) 楽楽	<p>◎打楽器共通課題</p> <p>第1回 1. リズム感のテスト 2. 聴音 (ピアノにより音を与え音名を答えさせる。)</p> <p>第2回 初見視奏</p> <hr/> <p>小太鼓</p> <p>(1) 小太鼓の基本打法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 9つ打ち, ロール (, , ff のロール 10秒)</p> <p>(2) C. Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) No.1~No.10, No.31~No.40 の中から当日指定する。</p> <p>マリンバ</p> <p>(1) 音階 下記の音型による各調の中より当日指定。 M.M. ♩ = 100~120</p>  <p>(2) 課題曲 J. S. Bach : Sonaten und Partiten BWV 1001-1006 für Violine solo (Peters 版)より Sonata I ~Fuga, Presto (曲の一部を指定することもある)</p> <p>(3) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール (注) 小太鼓は, <u>各自持参すること。</u></p> <p>ティンパニ</p> <p>(1) チューニング (当日指定した音程をつくること)</p> <p>(2) ロール ff, pp,  等</p> <p>(3) S. Goodman : Modern Method for Timpani (Belwin-Mills 版) より P.24~P.35 までの中から当日指定する。</p> <p>(4) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール (注) 小太鼓は, <u>各自持参すること。</u></p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
		<p style="text-align: center;">第一回</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	管	
	打楽器 (Pc)	<p style="text-align: center;">第二回</p> <p>小太鼓</p> <p>(1) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm (Belwin-Mills 版) No.6, 11, 14, 15, 20, 48 の中より当日指定する。</p> <p>(2) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏(各調の中より当日指定する。-Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (例)</p>  <p>(3) 三善晃 : 会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ)</p> <p>マリンバ</p> <p>(1) 自由曲</p> <p>(2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) P.4~P.11 の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>ティンパニ</p> <p>(1) E. Carter : EIGHT PIECES for Four Timpani (Associated Music Publishers 版) 「I. Saëta」「VII. Canaries」より当日指定する。</p> <p>(2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) P.4~P.11 の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>(3) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏(各調の中より当日指定する。-Dolce, Staccato 等, 表情をつけて)(小太鼓の(2)譜例を参照のこと)</p> <p>(4) 三善晃 : 会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ)</p>
楽	楽	

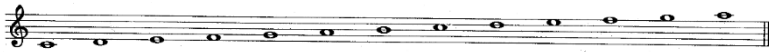
科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	古	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロ及び伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4', FF-f")のみとする。</p> <p>② バロックヴァイオリン、リコーダーの受験生はチェンバロ伴奏者を同伴すること。</p> <p>③ 課題曲の演奏順は任意とする。すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏順に作品名を書いて、出願とともに学生募集係に提出すること。</p> <p>④ 演奏する作品のうち、チェンバロの課題②をのぞくすべての楽譜を、演奏順にコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願とともに学生募集係に送付すること。当該楽譜は「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。封筒裏面には志願者の氏名および受付番号を必ず記入すること。</p>
	チェンバロ (Cemb)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① G. Böhm : Suite, c-Moll (全楽章) ※Allemandeのみ前半の繰り返しを行うこと。</p> <p>② J. S. Bach : 15曲の Sinfonia から以下の 11 曲、 c-Moll (BWV 788), D-Dur (BWV 789), d-Moll (BWV 790), e-Moll (BWV 793), F-Dur (BWV 794), f-Moll (BWV 795), G-Dur (BWV 796), g-Moll (BWV 797), A-Dur (BWV 798), a-Moll (BWV 799), B-Dur (BWV 800)</p> <p>③ J. S. Bach : Das Wohltemperierte Klavier 第2巻より Praeludium und Fuga, As-Dur (BWV 886)</p> <p>④ J.P.Rameau : L'Entretien des Muses (繰り返しはなし)</p> <p>⑤ 次の3曲の D. Scarlatti のソナタより任意の1曲 (繰り返しはなし) K.104 (G-Dur), K.113 (A-Dur)、K.115 (c-Moll)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	楽	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① 17世紀イタリアのソナタ (例：D. Castello, B.Marini, G. P. Cimaらの作品) から1曲</p> <p>② F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) の Composition から1曲</p> <p>③ F. Couperin : 任意のコンセールから2つの楽章</p> <p>④ G. F. Handel, A. Corelli, J-M. Leclair のソナタより任意の1曲 (全楽章)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① Giovanni Bassano : Ricercate, passaggi et cadentie より任意の Ricercata を1曲 (リコーダー用に移調して演奏。使用リコーダー、ピッチは自由)</p> <p>② Jacques-Martin Hotteterre : Suite III (Oeuvre II 1715年) より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用し変ロ長調に移調して演奏。ピッチ a' =415。)</p> <p>③ G.F.Handel : Sonata HWV 360, 362, 365, 367a, 369, 377 より任意の1曲 (全楽章。バロックタイプのトレブルを使用。ピッチは a'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
指揮		第一回	<p>(1) 聴音 (a)単旋律及び複旋律（ピアノによる） (b)受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) 課題曲 Ludwig van Beethoven : Symphonie Nr.2 op.36 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。 （ピアノによる）</p>
		第二回	<p>(1) 課題曲 Bartók Béla : Divertimento für Streichorchester 第1楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(合奏による)</p> <p>(2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏</p> <p>(3) 器楽試験 弦楽器(ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問 ※必要に応じて、ハーモニー、リズム等の適性検査を行うことがある。</p> <p>(注1) 第2回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。</p> <p>(注2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																																		
邦 三 味 線 音 楽 ・ 邦 楽 囃 子	<p>◎邦楽共通注意事項 受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。 ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。 各専攻とも、第二回試験に面接を課す。</p>	<p>◎長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子共通 注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。 2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。 3. 上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2024年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。 4. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。付属品（撥、指かけ、ひざゴム等）は各自持参すること。 5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。 6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。 7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。 8. 三味線音楽第2回Bにおいては、選択分野が三味線の場合、譜面使用不可（暗譜）とする。 9. 邦楽囃子第2回Cにおいては、譜面使用可とする。 																																		
	<p>長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元 邦楽囃子</p>	<p>◎長�三味線・常磐津三味線・清元三味線・長�・常磐津・清元・邦楽囃子共通 注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。 2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。 3. 上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2024年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。 4. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長�三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。付属品（撥、指かけ、ひざゴム等）は各自持参すること。 5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。 6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。 7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。 8. 三味線音楽第2回Bにおいては、選択分野が三味線の場合、譜面使用不可（暗譜）とする。 9. 邦楽囃子第2回Cにおいては、譜面使用可とする。 <table border="1" data-bbox="614 958 1433 1413"> <thead> <tr> <th colspan="2">課題曲</th> </tr> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長�三味線 長�</td> <td>「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>「外記猿」(四世杵屋三郎助作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常磐津三味線 常磐津</td> <td>「千代の友鶴」(五世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td>「松島」(六世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">清元三味線 清元</td> <td>「申酉」(初世清元齋兵衛作曲)</td> </tr> <tr> <td>「卯の花」(磯女作曲)</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子(小鼓)</td> <td>「竹生島」(十一世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(大鼓)</td> <td>「元禄花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(太鼓)</td> <td>「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(笛)</td> <td>「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> </tbody> </table> <p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p> <p>第二回</p> <p>A. 自由曲1曲 明治45年(西暦1912年)以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。時間を要する曲で、上・中・下に分かれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 邦楽囃子以外の志願者は、志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1" data-bbox="635 1666 1187 1883"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長�三味線</td> <td>長�</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長�</td> <td>長�三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> </tbody> </table> <p>C. 邦楽囃子の志願者は、長�三味線又は長�のいずれかの分野を選択し、以下の2曲の中から1曲を選ぶこと。 「小鍛冶」(二世杵屋勝五郎作曲) 「末広狩」(十世杵屋六左衛門作曲)</p>	課題曲		志願部門	課題曲	長�三味線 長�	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)	「外記猿」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津三味線 常磐津	「千代の友鶴」(五世岸澤式佐作曲)	「松島」(六世岸澤式佐作曲)	清元三味線 清元	「申酉」(初世清元齋兵衛作曲)	「卯の花」(磯女作曲)	邦楽囃子(小鼓)	「竹生島」(十一世杵屋六左衛門作曲)	〃(大鼓)	「元禄花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)	〃(太鼓)	「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)	〃(笛)	「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)	志願部門	選択分野	長�三味線	長�	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長�	長�三味線	常磐津	常磐津三味線	清元
課題曲																																				
志願部門	課題曲																																			
長�三味線 長�	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)																																			
	「外記猿」(四世杵屋三郎助作曲)																																			
常磐津三味線 常磐津	「千代の友鶴」(五世岸澤式佐作曲)																																			
	「松島」(六世岸澤式佐作曲)																																			
清元三味線 清元	「申酉」(初世清元齋兵衛作曲)																																			
	「卯の花」(磯女作曲)																																			
邦楽囃子(小鼓)	「竹生島」(十一世杵屋六左衛門作曲)																																			
〃(大鼓)	「元禄花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)																																			
〃(太鼓)	「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)																																			
〃(笛)	「外記猿」(十世杵屋六左衛門作曲)																																			
志願部門	選択分野																																			
長�三味線	長�																																			
常磐津三味線	常磐津																																			
清元三味線	清元																																			
長�	長�三味線																																			
常磐津	常磐津三味線																																			
清元	清元三味線																																			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦 邦 邦	現 代 邦 楽 囃 子	<p>◎現代邦楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1・2回試験は譜面を使用してもよい。 2. 第1・2回試験の小鼓以外の打楽器は本学が準備した楽器を使用すること。 3. 第1・2回試験のパートや試験範囲は当日指定する。 4. 第1・2回試験の笛（竹笛，能管），バチ類は各自準備すること。 5. 第1・2回試験ともに独奏で演奏すること。 6. 課題曲の譜面が入手困難な場合は，本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 	<p>第一回</p> <p>笛・打楽器共通課題曲「颯踏」長澤勝俊作曲</p>
		<p>第二回</p> <p>(1) 課題曲 笛：「人形風土記」長澤勝俊作曲 「ディヴェルティメント」佐藤敏直作曲 打楽器：「ダンスコンセルタント 第一番〈四季〉」三木稔作曲 「子どものための組曲」長澤勝俊作曲</p> <p>(2) 五線譜による初見視奏</p> <p>(3) 口頭試問</p>	
		楽	日 本 舞 踊
<p>第二回</p> <p>A. 自由曲1曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参，提出し，試験官の指定する箇所を踊る。</p> <p>B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。</p> <p>C. 試験官の用意した振付を三回見て覚え，その場で同じ振りを踊る。</p>			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦 楽	箏	<p>◎箏曲共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回・第2回試験とも暗譜で演奏すること。 2. 試験は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。 3. 演奏箇所は試験の際に指示する。 4. 第2回試験（箏）は、曲名・作曲者名を曲目提出用紙に記入すること。また本手・替手・高音・低音・第1・第2などの区別のある曲は、どのパートで受験するか曲目提出用紙に記入すること。 5. 邦楽一般、及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。 <p>◎山田流に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏（テトロン糸18匁）・三絃（絹糸）の使用も可能である。なお、曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の区別を記入すること。 2. 箏の一次試験、二次試験のうち、どちらかの試験で必ず「歌曲」を選択すること。（一次試験では、*印の曲目を「歌曲」とする。） 3. 調弦は、試験室に入室後、改めて取り直し、審査対象の内とする。又、調子替等、印付けは一際不可とする。 <p>◎生田流試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸）を使用する。 2. 三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器（絹糸）を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること。） 3. 調弦はチューナーなどを持ち込まず、試験官が提示する基音から行うこと。 4. 第一回、第二回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。 <p>◎現代箏曲試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一回、第二回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。 2. 演奏は立奏（椅子）で行う。 3. 演奏範囲はそれぞれ、曲の冒頭から試験官が止めるまで演奏すること。任意の箇所を指定する場合もある。 4. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸）を使用する。 5. 山田流・生田流どちらで受験しても構わない。 <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
	楽 曲	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦	箏	山田流	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* 「江の島曲」 山田検校 作曲 * 「白の聲」 三世山登松齡 作曲 「岡康砧(本手)」 岡安小三郎 原作</p> </div>
		山田流	<p>第二回</p> <p>箏：自由曲1曲 第一回の受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第一回で受験した曲以外の課題曲2曲からも選択できる) ※別科を併願する場合は、別科課題曲を除く。</p> <p>三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「秋の七草」 文部省音楽取調掛 作曲 「子の日の遊」 二世 山木太賀一 作曲</p> </div>
	箏	生田流	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲1曲 下記の中から2曲を選択し、試験当日そのうちの1曲を受験者が 抽選により決定する。</p> <p>「ままの川」 (菊岡検校作曲) 一は沓越(D) 「さむしろ」 (在原句当作曲) 一は神仙(C) 「萩の露」 (幾山検校作曲) 一は沓越(D) 「茶音頭」 (菊岡検校作曲) 一は双調(G)</p>
	箏	生田流	<p>第二回</p> <p>箏：自由曲1曲 1909(明治42)年以降に作曲、又は手付された曲。ただし、楽 章単位ではなく1曲単位で受験すること。</p> <p>三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <p>「八段」 (八橋検校作曲) Iの糸は沓越(D) 「末の契り」 (松浦検校作曲) Iの糸は沓越(D) 「千代の寿」 (宮城道雄作曲) Iの糸は沓越(D)</p>
楽	曲	現代箏曲	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲2曲 下記4曲のうち2曲を選び、曲目提出用紙に記入し提出すること。</p> <p>「曼殊沙華」 (沢井忠夫作曲) 「神仙調舞曲」 (唯是震一作曲) 「綺羅」 (杵屋正邦作曲) 「手事」 (宮城道雄作曲)</p>
		現代箏曲	<p>第二回</p> <p>(1) 箏：自由曲1曲 ・1950年以降に作曲された「箏独奏曲」より選曲すること。 ・自作曲は不可。 ・演奏する楽曲の楽譜を提出すること(全曲)。 ・楽譜の書式は問わない(五線譜・縦譜・横譜等)。 ・楽譜は任意の封筒を使用して、書留速達扱いで出願と同時に、 他必要書類と別便で郵送すること。送り先は必要書類送付先 と同所とする。 ・提出された楽譜は返却しない。</p> <p>(2) 初見視奏 下記の調絃にした箏を本学で用意する。</p>  <p>(3) 口頭試問</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
邦	尺八	<p>◎尺八に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。 全曲暗譜とする。 		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="533 416 598 586">第一回</td> <td data-bbox="598 416 1449 586"> 選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲) 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="533 586 598 1205">第二回</td> <td data-bbox="598 586 1449 1205"> 課題曲 1曲 尺八本曲(一尺八寸管を使用) 琴古流「一二三鉢返調」 都山流「峰の月」(流祖中尾都山作曲) 選択曲 2曲 ①外曲古典(一尺八寸管を使用) 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「松上の鶴」「近江八景」「夕顔」「末の契」 ②外曲新曲(一尺六寸管を使用) 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「赤壁賦」(中能島欣一作曲) 「春の訪れ」(宮城道雄作曲) 「春の海」(宮城道雄作曲) ※琴古流の「赤壁賦」は、邦楽社刊箏譜「赤壁賦」 (中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。 ア. 五孔尺八(竹製)を用いること。 イ. 外曲は無伴奏(素吹)にて吹奏する。 ウ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 エ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 オ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。 </td> </tr> </table>	第一回	選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲) 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。
第一回	選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲) 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。			
第二回	課題曲 1曲 尺八本曲(一尺八寸管を使用) 琴古流「一二三鉢返調」 都山流「峰の月」(流祖中尾都山作曲) 選択曲 2曲 ①外曲古典(一尺八寸管を使用) 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「松上の鶴」「近江八景」「夕顔」「末の契」 ②外曲新曲(一尺六寸管を使用) 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「赤壁賦」(中能島欣一作曲) 「春の訪れ」(宮城道雄作曲) 「春の海」(宮城道雄作曲) ※琴古流の「赤壁賦」は、邦楽社刊箏譜「赤壁賦」 (中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。 ア. 五孔尺八(竹製)を用いること。 イ. 外曲は無伴奏(素吹)にて吹奏する。 ウ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 エ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 オ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。			
楽	能 (囃子を除く)	<p>◎能楽に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回、第2回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。 能楽について簡単な試問を行うことがある。 受験者は黒紋付、袴、白足袋着用の上、無本(暗譜)のこと。 		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="533 1370 598 1800">第一回</td> <td data-bbox="598 1370 1449 1800"> (イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「田村」キリ (ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「春栄」 (ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「風車」及び「柳の下」 (B) 小舞 「花の袖」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。 </td> </tr> </table>	第一回	(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「田村」キリ (ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「春栄」 (ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「風車」及び「柳の下」 (B) 小舞 「花の袖」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。
		第一回	(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「田村」キリ (ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶴飼」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「春栄」 (ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「風車」及び「柳の下」 (B) 小舞 「花の袖」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。	
第二回	謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く) 謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。 謡曲の謡う部分については、当日指定する。			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦	能楽囃子	<p>◎能楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下記の曲を一噌流, 幸流, 高安流, 観世流(太鼓)のいずれかで受験すること。 2. 笛, 小鼓, 太鼓の試験に際しては, 各自持参の楽器を使用してもよい。ただし, 大鼓については, 楽器を使用しない。 3. 地謡の流儀は観世流, または宝生流のいずれかを選ぶこと。 4. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 5. 受験者は黒紋付, 袴, 白足袋着用の上、無本(暗譜)のこと。
		<p>第一回</p> <p>囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸流) 「天鼓」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ</p>
		<p>第二回</p> <p>囃子 自由曲(ただし, 第1回及び別科の課題曲を除く。) 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし観世流, または宝生流のいずれかで受験すること。)</p> <p>(イ) 「紅葉狩」サシより中入まで (ロ) 「鶴飼」待謡より終わりまで (ハ) 「竹生島」クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで</p>
楽	雅楽 箏 龍笛	<p>◎雅楽に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雅楽専攻で受験できる楽器は「笙」, 「篳篥」, 「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。 2. 実技試験は, 管絃吹で行う。
		<p>第一回</p> <p>(A) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「唱歌テスト」を行う。 (B) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老越調「賀殿急」 2. 双調「酒胡子」 3. 太食調「抜頭」
		<p>第二回</p> <p>(C) 下記の課題曲により第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。 (D) 「舞」の為のリズムテスト (E) 「雅楽」についての試問をする。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平調「鶏徳」 2. 黄鐘調「拾翠楽」 3. 盤渉調「越殿楽」

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
楽 理		第一回	1. 国語（試験時間：2時間） 現代の国語・言語文化・古典探究 2. 外国語（試験時間：2時間） 英語（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ）、ドイツ語、フランス語のうち1科目を選択する。
		第二回	小論文（含、口述試問。試験時間：筆記2時間） 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。（課題は当日出題する。）
音 楽 環 境 創 造		第一回	学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分） ※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。
		第二回	小論文および面接（表現を含む） ●小論文（120分） ●面接（20分）表現を含む。 ○表現 下記の1～3のいずれかを選択し（出願時に選択、複数選択も可）、制限時間内（5分）で行うこと。 1. 演奏（コンピュータ・電子楽器等も可） ※表現能力・創作能力などをアピールしたい場合 2. パフォーマンス（演奏以外の表現。複合的表現を含む。） ※演奏以外の表現力や感性をアピールしたい場合 3. プレゼンテーション（パネルやチャート図等によるプランの提示、楽譜等の作品、研究計画書等） ※企画・アイデアをアピールしたい場合 （表現の注意事項） ・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない。） ・セッティングを含めて5分以内で終了すること。 ・グランドピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。 ・A V機器（CD/DVD/Blu-ray, HDMI ケーブル, ステレオミニフォンプラグのケーブル）は用意されている。 ・コンピュータを持参して使用することは可能だが、機器についてのサポートは一切与えられないので、全て自己責任にて用意すること。 ・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目、靴、衣装であること。 （パフォーマンスで使用できる広さは、幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。）
		●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について 音楽環境創造科志願者は、志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を出願時に、他必要書類とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。	

イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等

① 音楽に関する基礎能力検査

1. 筆記試験

a) 聴音書き取り (試験時間: 約 30 分)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(63 ページの例題程度)

単旋律 (1 題)

複旋律 (1 題)

四声体和声 (1 題)

b) 楽典 (試験時間 1 時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式等作曲法の内容は含まない。

2. 実技試験

a) 新曲視唱 (1 題)

歌詞を伴わない初見唱。作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。

(64 ページの例題程度)

b) リズム課題 (1 題)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(64 ページの例題程度)

聴音書き取り例題

単旋律

♩ = 52

A single melody exercise in 6/8 time, marked with a tempo of ♩ = 52. The music is written on three staves. The first staff begins with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). The melody consists of eighth and sixteenth notes, with some accidentals (sharps and flats) and a final double bar line.

複旋律

♩ = 54

A complex melody exercise in 2/4 time, marked with a tempo of ♩ = 54. The music is written on two staves, both with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). The exercise includes various rhythmic patterns, triplets, and sextuplets, ending with a double bar line.

四声体和声

♩ = 52

A four-part harmony exercise in C major, marked with a tempo of ♩ = 52. The music is written on two staves, both with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The exercise consists of a series of chords and intervals, ending with a double bar line.

新曲視唱例題

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩ = 60

●声楽科志願者

♩ = 48

リズム課題例題

手で拍を振りながら，下記のリズムを音程をつけずに音名で読みなさい。

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩ = 60 ca.

●声楽科志願者

♩ = 60 ca.

●予 告

2026 年度入試から、『音楽に関する基礎能力検査』「聴音書き取り」の試験内容を、以下のとおり変更する。

(赤字下線が変更箇所)

【旧】(2025 年度募集要項 62 ページ参照)

① 音楽に関する基礎能力検査

1. 筆記試験

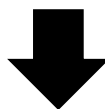
a) 聴音書き取り (試験時間: 約 30 分)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(63 ページの例題程度)

単旋律 (1 題)

複旋律 (1 題)

四声体和声 (1 題)



【新】

① 音楽に関する基礎能力検査

1. 筆記試験

a) 聴音書き取り (試験時間: 約 30 分)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(66 ページの例題程度)

単旋律 (1 題, 記憶聴音)

複旋律 (1 題)

四声体和声 (1 題)

単旋律（記憶聴音）

♩ = 52

複旋律

♩ = 54

四声体和声

♩ = 52

② 副科実技等

1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科 器楽科 (オルガンのみ) 指揮科 楽理科 (ピアノでの志願者)</p>	<p>次の(イ), (ロ), (ハ) から1つ選択すること。</p> <p>(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻, 第2巻より任意の1曲 (Praeludium 及び Fuga の両方を準備すること。)</p> <p>(ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten Op.2 No.1, 2, 3 Op. 7 Op.10 No.1, 2, 3 Op.13 Op.14 No.1, 2 Op.22</p> <p>の中から1曲を選び, その第1楽章</p> <p>(ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10, 25 より任意の1曲</p> <p>(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p>声乐科 器楽科 (弦楽, 管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No.39 の中から当日指定する。 同一調号による長調と短調 但し速度を♩ = 100 程度以上とする。 (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後, 続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。</p> <p>(2) 下記のソナチネ, ソナタより1曲を選び, その第1楽章。 Kuhlau : Op.20 No.1,2,3 Op.55 No.1,2,3 Clementi : Op.36 No.2,3,4,5,6 Haydn : Hob. XVI/35 (C-dur) Mozart : KV 545 (C-dur) Beethoven : Op.49 No.1 g-moll, 2 G-dur 版によってナンバーが違う可能性があるので注意すること。 Dusseck : Op.20 No.1</p> <p>(注) (1), (2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>

2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）</p> <p>ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽専攻・管楽専攻の志願者が出願できる楽器に限る。</p> <p>打楽器で受験する場合に使用できる楽器は、小太鼓（持ち込み可）またはマリмбаに限る。</p> <p>試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p>ヴァイオリン課題曲 W.A.Mozart：Violin Concerto No.3 in G major, K.216 より 第1楽章, Allegro （注）Cadenzaを除く。暗譜とし、伴奏なし。</p> <p>邦楽課題曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線 「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲） ・箏曲（山田流） 「秋の七草」（音楽取調掛作） ・箏曲（生田流） 「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝老越(D) ・尺八（琴古流・都山流）共通 「六段の調」（八橋検校作曲） ・邦楽囃子 「五郎時致」（三升屋二三治作詞，十世杵屋六左衛門作曲） （注）四拍子の中より一つを選択する。 ・能楽囃子 笛 「中ノ舞」 小鼓「羽衣クセ」 大鼓「羽衣クセ」 太鼓「鶴亀キリ」 ・雅楽 平調「越殿楽」 （注）管楽器の中より一つを選択する。 <p>※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。</p>

3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲等
作曲科	初見奏

4. 和声

受験者 区分	試験内容及び課題曲等
指揮 科 ・ 楽 理 科	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。 試験時間は1時間30分。 与えられた数字付低音によるバス及びソプラノ声部に、それぞれ四声体の和声を作る。 指揮科課題，楽理科課題とも三和音の基本形と転回形のみ。転調は含まない。</p>
	<p>【例題】</p> <p>1) 次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。</p>  <p>2) 次のソプラノ課題を四声体で実施し，可能であればバス声部の下に和音数字（5,6など）を書きなさい。</p> 

ウ. 面接

作曲科，邦楽科及び音楽環境創造科の各志願者に対して面接を行い，声楽科，器楽科，指揮科及び楽理科の各志願者に対しては，面接を行わない。

音楽環境創造科の面接には，「表現」を含む。(61 ページ参照)

エ. その他

音楽環境創造科の志願者は，「志望理由書」(800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出しなければならない。「志望理由書」は，面接時の参考とする。

1 1. 合格者発表

1. **中間合格者発表** 入学試験実施日程表（別表2）（102 ページ）に記載された日である。本学「入試情報サイト」（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）で発表する。合格者の発表は、受験番号により行う。
2. **最終合格者発表** 2025年3月13日(木)に本学「入試情報サイト」（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）及び音楽学部構内で14時以降（予定）に発表を行う。電話・電子メール等による可否等の問い合わせには一切応じない。最終合格者は、以下の方法により入学手続書類を受け取ること。
出願時に申請した住所に対して2025年3月13日（木）中に大学から合格者へ入学手続書類を発送する。合格発表時に指示する方法で、2025年3月15日（土）12時までに、入学意思があることを必ず本学に連絡すること。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものとして取り扱う。入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）にて掲載する。（中間発表においては、日程等も併せて本学「入試情報サイト」に掲載する。）

※発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。（中間発表：各発表日14時以降、最終発表：2025年3月13日（木）14時以降）

最終合格者発表のみ音楽学部構内でも掲示を行う。
（構内掲示期間は2025年3月13日（木）17時まで）

3. **追加合格者について** 入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合、2025年3月28日（金）から2025年3月31日（月）までの間に追加合格者を決定する場合がありますので、この期間本学部から連絡がとれるようにすること。なお、この発表は本学部から当該者に対して電話連絡等により行い、受験者からの問い合わせには一切応じない。

12. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は郵送により行う。詳細は入学手続書類発送の際、案内を交付するので、案内に従って手続きを行うこと。

1. 入学手続期間 郵送受付：2025年3月21日(金)必着

※合格発表時に指示する方法で、2025年3月15日(土)12時までに、入学意思があることを必ず本学に連絡すること。

入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

2. 郵 送 先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

3. 入学料等の支払

入学料・・・・・・・・・・338,400円(予定額)

(注) 入学手続終了者が2025年3月31日(月)までに入学辞退を申し出た場合でも入学料は返還しない。

*参考までに、入学手続時には上記入学料の他に次のような経費の支払が必要となる。

○音楽教育振興会費・・・・・・・・・・80,000円

(音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

○キャンパス環境整備支援会費・・・・・・・・100,000円

(キャンパス環境整備支援会：本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会です。本趣旨にご賛同の上、ご協力(ご入会)をお願いします。(会費入学時のみ支払/卒業まで有効))

○学生教育研究災害傷害保険料(4年間)・・・3,300円

○学研災付帯賠償責任保険料(4年間)・・・1,360円

○同声会費(同窓会費)・・・・・・・・・・60,000円

また、生協加入については別途資料が郵送されます。加入については任意です。

(加入出資金15,000円、その他共済掛金等)

※授業料・・・・・・・・前期分321,480円、後期分321,480円(年額642,960円)〔予定額〕

(国費外国人留学生は支払不要)

(注) 1. 授業料の支払に関しては入学手続時に詳細を通知する。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

4. 提出書類 誓約書……………1通(所定用紙を交付する。)

卒業証明書……………1通(2025年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ)

その他……………合格者発表時通知する。

5. 留意事項

(1) 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱う。

(2) 他の国公立大学・学部の入学手続をした者は、これを取消して本学部の入学手続をすることはできない。

(3) 本学部の入学手続をした者は、これを取消して他の国公立大学・学部の入学手続をすることはできない。

(4) 受験のために「短期滞在」の在留資格で来日した者は、入学までに一時帰国して「留学」の在留資格を取得し、母国の日本大使館・領事館で査証/ビザを申請すること。

在留資格認定証明書の代理申請を本学に依頼する場合は、入学手続時に必要書類を提出すること。

※他大学にも合格した場合などで、在留資格認定証明書の交付申請が重複しないように注意すること。

13. 藝心寮（学生寮）について

1. 申込方法

申込方法は下記の本学藝心寮ページよりご確認ください。

藝心寮ページ <https://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

2. 募集期間

- ① 合格前予約の募集期間 2025年1月7日(火)～3月4日(火)
- ② 合格後の募集期間 ※2025年3月14日(金)～3月15日(土)
※合格前予約制度合格者の数に応じて募集を行わない可能性もある。

3. 入寮申込問い合わせ先

学生マンション総合案内センター「東京藝術大学藝心寮受付窓口」

(株式会社毎日コムネット東京駅前センター内)

フリーダイヤル 0120-423-280 電話 03-5204-8502 FAX03-5204-8503

14. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

(1) 概要

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記(2)の申請要件および(3)の対象者を確認のうえ、所定の手続きを行うこと。

支払後の申請は出来ないので注意すること。また、入学料免除も授業料免除も、申請しても不許可となる場合があるため、入学料・授業料の支払の準備は事前に十分に行っておくこと。

(2) 申請要件

① 入学料免除

- ・経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合(下記(3)の①の対象者のみ)
- ・入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等で災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ・上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

② 入学料徴収猶予

- ・経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ・入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ・その他やむを得ない事情があると認められる場合

③ 授業料免除

- ・経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ・授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

④ 授業料徴収猶予

- ・経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ・授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ・その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 対象者

① 高等教育の修学支援新制度の対象者について

本学は、2020年度より開始された、高等教育の修学支援新制度の対象機関(認定大学)である。

入学料・授業料の免除・徴収猶予を希望する場合は、JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)の給付奨学金への申込みが必要となるので、JASSOへの申込みを必ず行うこと。その上で、入学料・授業料の免除・徴収猶予について、本学所定の申請書で、本学に申し込むこと。

② 高等教育の修学支援新制度の対象外となる者について

高校の卒業年度等を理由に、上記①の修学支援新制度の支援対象とならなかった者(※)に対し、芸術教育の機会均等のための授業料免除制度がある。

修学支援新制度の申請資格があるにも拘わらず申請しなかった者は、本学の独自制度の対象とならないので、注意すること。

※ 高校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から、大学に入学した日までの期間が2年を経過した者(いわゆる3浪以上の者)、高卒認定試験合格者については、当該試験受験資格取得年度の初日から認定試験合格日の属する年度の末日までの期間が5年を経過している者。

③ 別科生について

別科生は、上記①の修学支援新制度の支援対象とはならないが、既存の入学料・授業料の免除・徴収猶予制度の対象となる。

制度の詳細については、本学ホームページを確認すること。

入学料の免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_admission

授業料の免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_tuition

※令和7年度より、修学支援新制度において、多子世帯への授業料無償化の支援が行われる予定ですが、詳細については決まり次第、上記HP等でご案内予定です。

15. 「修学支援奨学金（給付型）」について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、「学業優秀と認められる場合」に該当せず上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

16. 奨学金・特待生について

本学では、入学試験、在学中の実技試験等において特に優れた成績を修めた者に対し、各種の奨学金、特待生制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/geidai_scholarship

1. 入学試験成績により採用されるもの

宗次徳二^{むねつぐとくじ}特待奨学生 [対象：ピアノ、弦楽、管打楽／初年度給付額：100万円／給付期間：最長4年間]
※宗次徳二特待奨学生を希望する志願者は、出願時「宗次徳二特待奨学生申請有無」欄にその旨入力すること。

2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

長谷川良夫賞 [対象：作曲／給付額10万円又は20万円]

松田トシ賞 [対象：声楽／給付額20万円]

アリアドネ・ムジカ賞 [対象：ピアノ／給付額30万円]

藝大クラヴィーア賞 [対象：ピアノ／給付額10万円]

宮城賞 [対象：邦楽／給付額10万円]

常英賞 [対象：邦楽／給付額10万円]

武藤舞奨学金 [対象：音楽環境創造／給付額30万円] 他

3. その他の支援制度

上記以外にも、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、青山財団、よんでん文化振興財団などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されている。

II 別科

東京藝術大学別科とは、音楽に関する技能を教授する2年制のコースである。具体的には、個人指導による授業（レッスン）を受けることになり、原則これ以外に履修できる授業はない。大学別科在籍者は正規生の取り扱いとなり、修了者には「修了証書」を授与する。なお、単位の認定及び教員免許等の資格は得られないので、注意すること。

1. 専修部門及び募集人員

専 修		募 集 人 員
声	楽	} 20名
器 楽	ピ ア ノ	
	オ ル ガ ン	
	弦 楽 器	
	管 打 楽 器	
	古 楽	
邦	楽	

※ 別科入学者選抜試験は、上野校地（東京都台東区上野公園12-8）（24ページ掲載「試験場案内図」参照）で行う。

(注) 1. 別科への出願は、志願する専修1つに限る。

- ① 声楽専修志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。
ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）
(注) 男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する声種に出願すること。
- ② 弦楽器及び管打楽器志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
(弦楽) ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ
(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器
- ③ 古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
バロック声楽、バロックヴァイオリン、バロックチェロ、リコーダー、チェンバロ、バロックオルガン、フォルテピアノ
- ④ 邦楽専修志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元、邦楽囃子（笛含む）、箏曲（山田流）、箏曲（生田流）、尺八、能楽（囃子を除く）、能楽囃子

2. 別科と音楽学部の併願受験について

別科と音楽学部の併願受験について、以下のとおり取り扱う。

- ① 併願を認める専修
別科の声楽専修、器楽専修（管打楽器）及び邦楽専修の各志願者にあつては、音楽学部声楽科、器楽科（管打楽専攻）及び邦楽科と併願受験できる。
- ② 併願を禁止する専修
別科の器楽専修（ピアノ・オルガン・弦楽器・古楽）の各志願者は、それぞれ音楽学部の各学科・専攻を併願受験することはできない。これらについては、志願する別科の専修と音楽学部の学科・専攻が異なる場合でも併願受験はできない。

2. 出願資格 - 音楽学部と同様とする。（3ページ参照）ただし「大学入学共通テスト」の受験は要しない。

3. 修業年限 - 2年

4. 出願手続

1. 出願手順・方法

別科入学試験の出願方法は、以下のとおりである。①、②を指定された期間内に行い、③の必要書類を出願期間内に本学に郵送すること。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続き完了となる。出願が受理されると、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。④

①	インターネット出願登録 (詳細は 79 ページ参照)	パソコン等で本学の「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録すること。
②	入学検定料の支払い (詳細は 81 ページ参照)	①の完了後、「インターネット出願サイト」の指示に従って、入学検定料を支払うこと。
③	必要書類の送付 (詳細は 83 ページ参照)	②の完了後、本学「入試情報サイト」から必要書類等を印刷し、他の必要書類とともに本学に郵送すること。
④	受験票の印刷 (詳細は 86 ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、「インターネット出願サイト」の「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。

2. 出願期間

インターネット出願登録期間	入学検定料支払期間	出願期間
2025年1月27日(月) 10:00 から 2025年2月5日(水) 23:59 まで	2025年1月27日(月) 10:00 から 2025年2月5日(水) 23:59 まで	2025年1月27日(月) から 2025年2月5日(水) まで [上記期間内の消印で郵送された出願書類に限り受け付ける。]

(注) 必要書類を直接大学に持参した者、上記期間外に手続きした者の出願は、いかなる理由があっても受け付けない。

インターネット出願登録期間最終日である2025年2月5日(水)に出願登録した者については、入学検定料支払期限・必要書類の有効消印日いずれも2025年2月5日(水)までとなるので注意すること。

3. 出願上の注意

- ・インターネット出願は、「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。
入学検定料(81ページ参照)を支払期限までに支払い、必要書類(83ページ参照)を出願期間内に書留・速達郵便にて本学に郵送する必要がある。
- ・「インターネット出願サイト」に登録された学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、「インターネット出願サイト」の「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合がある。
- ・入学検定料支払後は、登録内容を一切変更できないため、誤入力のないよう注意すること。また、出願受理後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・必要書類を日本国外から郵送する場合は、提出期限までに書留・速達郵便に準ずる方法で本学に郵送すること。
- ・出願にあたり不明な点がある場合は、必ず2025年2月5日(水)17時までに音楽学部学生募集係へ問い合わせること。
- ・本大学及び国内の他大学との二重学籍は認めないので出願時に十分考慮すること。

インターネット出願する前に必ず確認すること	
パソコン等の動作環境の確認	<p>インターネット出願は、以下の環境で行うこと。</p> <p>【PC 利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 8 以降 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は控えること。</p> <p>【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 10.2 以降 ・ Android 4.4 以降 <p>※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。</p> <p>※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。</p> <p>※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合があるので、モバイル版を利用すること。</p> <p>【プリンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラー印刷ができるプリンター <p>※ 「インターネット出願サイト」から印刷する「受験票」には写真が含まれるため、必ず「カラー印刷」すること。</p>
メールの設定	<p>登録されたメールアドレスにメールが以下 4 回送信される。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 初期パスワードおよび本登録用 URL の通知メール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール <p>その他、試験当日自然災害による試験の中止等入試に関する緊急連絡事項を送信する場合があります。</p> <p>メールは no-reply@e-apply.jp もしくは music.admissions@ml.geidai.ac.jp から送信される。あらかじめ受信できるように設定しておくこと。</p>
写真の用意	<p>出願には顔写真データ（2 MB まで）が必要である。</p> <p>明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前 3 か月以内に撮影した、カラー写真データを用意すること。（右図参照）</p> <p>提出する写真は縦長であること （比率は縦 4、横 3 が望ましい。）</p> <p><使用できない写真の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の写真を再度撮影したもの、不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等 <p>※ 提出された写真は、最終合格後学生証に使用する。</p>



インターネット出願する前に必ず確認すること		
書類の用意	出願資格を証明する書類	③必要書類の送付（83 ページ）を参照の上、調査書等、出願に必要な提出書類は、提出期限に間に合うようあらかじめ用意すること。
	その他出願に必要な提出書類	志願する専修に応じて提出書類が異なる。 「入試情報サイト」の「各種様式」のページよりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。 ※「各種様式」ページへのアクセス方法： 「入試情報サイト」→WEB 出願→各種様式
封筒の用意		必要書類郵送のために、市販の角型 2 号封筒（240mm×332mm、A 4 サイズの用紙が折らずに入る封筒）を用意すること。「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に貼付すること。 ※別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。
用紙の用意		A 4 サイズの普通コピー用紙（白色）を用意すること。「インターネット出願サイト」から印刷する書類等は A 4 サイズにカラー印刷する。

※「インターネット出願サイト」上の「事前準備」も併せて確認すること。

<p>○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先 株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター 電話：0120-202-079 （平日 10：00～18：00 土・日・祝日・年末年始を除く。※出願期間中は 24 時間対応）（日本語のみ） ※ E-mail：cvs-web@career-tasu.co.jp（日本語・英語対応可） ※ 入試に関する質問は不可</p> <p>○入試に関する問い合わせ先 東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp Tel：050-5525-2309 （平日 9：00～12：15、13：30～17：00 土曜・日曜・祝日・本学の夏期休業期間・年末年始を除く。） ※やむを得ない場合を除き志願者本人がメールにて問い合わせをすること。</p>

4. 出願手順・方法の詳細

1 インターネット出願登録

出願登録期間内に「入試情報サイト」のWeb出願から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、「インターネット出願サイト」トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

手順	
	「インターネット出願サイト」(https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス ▼
マイページ登録	○「マイページ登録」(オレンジ色のボタン) をクリック ○入力画面に従い、個人情報等を入力する。 ▼
志願先登録	○マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ○「音楽学部・音楽研究科」・「別科」を選択する。 ○出願する専修、楽器種等を選択する。 ▼
個人情報の登録	マイページ登録の際に登録した氏名、現住所等の個人情報内容を確認すること。 その他、必要事項を全て入力すること。 *写真のアップロード：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること。 (77ページ参照) *学歴については、卒業証明書などの学歴が確認できる証明書を確認しながら入力し、学校名・卒業年月等に誤りがないようにすること。 ▼
出願内容の確認	決済情報の他、入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」のボタンをクリックする。 ▼
出願登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。登録したメールアドレスに出願登録完了メールが届くので確認し、「引き続き支払う」をクリックし、入学検定料の支払手続に進む。

※インターネット出願登録完了メールに受付番号が表記されているので、入試終了まで大切に保管すること。

※出願登録後にメールアドレスを変更してしまうと、受験票発行の通知メールが受信できなくなるので注意すること。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

1. インターネット出願登録完了時に表示される 12 桁の受付番号は、受験番号ではない。
2. 登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックし、改めて出願登録および入学検定料の支払いをすること。誤った出願登録の入学検定料については、返還請求をすることができる。入学検定料の返還請求については 82 ページを確認すること。
3. 出願登録した日から起算し、その 4 日後の 23 時 59 分までに支払手続きが行われない場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
※ただし出願登録完了日が支払期限締切日まで 4 日未満の場合は、支払期限締切日が優先される。
※2025 年 2 月 5 日（水）にインターネット出願登録した場合、入学検定料支払期限・必要書類の有効消印日はいずれも 2025 年 2 月 5 日（水）までとなる。
4. 写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。
5. 入力する氏名は、必ず戸籍と同一文字でなければならない。漢字等で入力できない文字については、代替の漢字（なければカナ）を入力すること。
6. 学歴欄が不足する場合は、各自で別紙（任意形式）を作成し、出願手続き「必要書類の送付」の際に同封すること。
7. 入学手続書類送付先住所は、最終合格者への書類送付時の宛先となる。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入する。

2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、**1**のインターネット出願登録完了後に行う。インターネット出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手続をする。

- ① インターネット出願登録完了後「引き続き支払う」をクリックし支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」のトップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックし支払う。

入学検定料	入学検定料支払期間
9, 800円	2025年1月27日(月) 10:00 から 2025年2月5日(水) 23:59 まで

※国費外国人留学生は入学検定料の支払いは不要。

※支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。

支払い方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン/ローソン, ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート/デイリーヤマザキ/セイコーマート	志願者本人の名義でなくとも構わない。
クレジットカード	MUFGCARD / DC / UFJ / NICOS / VISA / MasterCard/JCB / AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング/PayPay 銀行/楽天銀行 / 住信 SBI ネット銀行/au じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続完了メールが届く。

【入学検定料に係わる注意事項】

1. 支払手続に関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページ「支払い方法」を参照して確認すること。
2. 支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
3. 支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは消去されるので注意すること。
4. 入学検定料の支払いが完了していない場合、「マイページ」から出願に必要な書類等は印刷できない。
5. クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。
6. クレジットカードでの支払いができない場合は、他のカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
7. 「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼し、必ず提出すること。
8. 誤って複数回検定料を支払ってしまった場合には、すみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)を確認すること。

①申請時期

各入学試験の出願期間開始日の一週間前の日まで

②提出書類

- ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

③注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ◇詳細は本学ホームページ上の「入試情報サイト」で確認すること。（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763

E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合（ただし、出願する学科・専攻において必要書類がない場合を除く）

該当する場合の返還請求の方法は以下の通りである。

本学所定の用紙「検定料返還請求願」（学部・別科・修士・博士用）を本学「入試情報サイト」上、「各種様式」ページよりダウンロード・印刷し、必要事項を記入して、東京藝術大学財務会計課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）まで郵送すること。

（注）・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

- ・大学から志願者への返還金額は、振込手数料を差し引いた額である。
- ・検定料返還請求願受領後、返還金の振込みまで通常約2～3か月かかる。
- ・返還請求願の提出期限は、2025年3月31日（月）（消印有効）とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

3 必要書類の送付

必要書類の郵送は、入学検定料の支払完了後に行う。「マイページ」より該当書類及び「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

その封筒に出願する専攻に応じたすべての必要書類を入れて、出願期間内に書留・速達郵便で本学へ郵送すること。

なお、必要書類を印刷する際は、すべて A4 サイズの普通コピー用紙（白）を使用し、カラー印刷すること。また、別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。

必要書類	要領等	備考
調査書	<p>○高等学校もしくは中等教育学校卒業者及び卒業見込者 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により出身学校から調査書が得られない場合は、以下の書類を全て提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書 ・成績証明書 <p>【注1】成績証明書が発行できない場合には、単位習得証明書または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」を提出すること。</p> <p>【注2】廃校等により卒業証明書又は成績証明書が得られない場合には、出身学校を所管した教育委員会又は知事が作成したこれらの書類を提出すること。</p> <p>○高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。） 合格成績証明書（ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えること。）</p> <p>※婚姻等により調査書等記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。</p>	<p>全員提出</p> <p>発行機関が厳封したもの。 ※ただし、発行機関が厳封の対応をしていない場合及び日本語訳作成のため開封が必要な場合は、厳封されていない調査書等の提出を認める。</p> <p>調査書、成績証明書等は、発行年月日は問わない。 ※ただし、既に高等学校等を卒業している者は卒業後に発行したものに限る。</p>

必要書類	要領等	備考
声楽専修 伴奏楽譜 〔声楽専修志願者〕	左記の志願者は、所定の用紙（自由曲提出楽譜表紙貼付票）に必要事項を記入し、「伴奏楽譜」表紙の上端に貼付して提出すること。 ○ 書留速達扱いとし、必要書類とは別便で同時に郵送すること。伴奏楽譜以外の書類を絶対に同封してはならない。同封した場合は受験できないことがある。封筒には「別科声楽専修伴奏楽譜在中」と表書きすること。 ○ 伴奏楽譜作成にあたっては「声楽科志願者に対する注意事項 2. 伴奏楽譜について (30 ページ)」の(2)に従うこと。	所定の用紙は本学「入試情報サイト」の「各種様式」ページよりダウンロードすること。 記入にあたっては楷書及び算用数字を用い、黒又は青のインクかボールペンで明記すること。
声楽専修 自由曲目提出用紙 〔声楽専修志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
器楽専修 曲目提出用紙 〔ピアノ志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
器楽専修 自由曲目提出用紙 〔オルガン・コントラバス・ハープ・打楽器志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
器楽専修 曲目提出用紙 〔古楽志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
器楽専修 演奏する楽譜 〔古楽志願者〕	左記の志願者は「演奏する楽譜」を4部提出すること。必要書類とは別便で、必要書類の郵送と同時に「書留速達」扱いで郵送すること。詳細は92ページを参照。	
邦楽専修 曲目提出用紙 〔長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
邦楽専修 曲目提出用紙 〔箏曲（山田流）志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
邦楽専修 曲目提出用紙 〔箏曲（生田流）志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
邦楽専修 曲目提出用紙 〔尺八志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	
邦楽専修 曲目提出用紙 〔能楽・能楽囃子志願者〕	左記の志願者は所定の用紙に記入すること。	

【必要書類に係わる注意事項】

1. 書留郵便1通には1人分の書類のみをまとめること。出願者数名分の一括郵送はしてはならない。
2. 声楽専修志願者は伴奏楽譜の中に、器楽専修古楽志願者は楽譜の中に、他の必要書類を絶対に同封してはならない。同封した場合受験できないことがある。
3. 必要書類受理後はいかなる事情があっても曲目・選択科目等の変更は一切認めない。
4. 学部と別科を併願する場合は、(75 ページ参照) それぞれ出願登録して入学検定料を支払い、必要書類も別に作成し、学部、別科別々の封筒で提出しなければならない。
5. 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出すること。
6. 日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。)

必要書類郵送に際して用意するもの	
封筒	市販の角型2号封筒(240mm×332mm)を各自で用意する。
封筒貼付用宛名シート	「マイページ」より印刷する。

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係

4 受験票の印刷

受験票は、出願受理後に「マイページ」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録されたメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズのコピー用紙（白色）にカラー印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参すること。本学からは郵送しない。

受験票の印刷可能開始日時
2025年2月14日（金）16：00以降

【受験票に係わる注意事項】

1. 受験票印刷後、記載内容について必ず確認すること。「インターネット出願サイト」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷可能日時になっても受験票が印刷できるようにならない場合は、2025年2月17日（月）までに音楽学部学生募集係へ連絡すること。（登録内容は「インターネット出願サイト」の「マイページ」にログイン後、「申込内容を確認する」で照会できる。）
連絡先：東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp
2. 試験当日はカラー印刷した受験票が必要となる。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
3. インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
4. 邦楽専修の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、通し番号で受験番号をふる。

5. 障害のある入学志願者の事前相談

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は、音楽学部学生募集係へ事前に連絡し、2024年12月17日（火）までに「受験上及び修学上の配慮申請書」に医師の診断書を添えて音楽学部学生募集係へ提出すること。その結果必要な場合には、志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者もすみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。なお、申請書及び診断書は本学入試情報サイトの「受験上の配慮申請」に掲載されている書式を用いること。


- 注) 1. 事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2か月）を要する場合があるため、早めに相談すること。
2. 特別な措置等は希望するすべての内容に対応できるとは限らない。



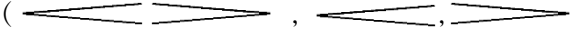
5. 試験内容及び試験曲

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び課題曲」に記載された内容についてのみ行う。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
声 楽	ソプラノ(S) アルト(A) (メゾソプラノを含む) テノール(T) バス(B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を暗譜で演奏する。 (注) 1. 歌曲(および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏してもよいが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること(ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く)。 2. 演奏時間は4分以内とする。試験官の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。 3. 伴奏楽器はピアノとし、楽器および伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。 4. 志願者は、ピアノ伴奏用の楽譜を出願時に提出すること。伴奏者は提出された楽譜を使用するので、調性等に誤りがないか確認し、本要項30頁の音楽科志願者に対する注意事項「2. 伴奏楽譜について」の(2)により楽譜の体裁を整えること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。 5. 男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する声種に出願すること。
	ピ ア ノ (Pf)	次の11曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。ただし、第21番を選択した者は、第1楽章とロンドを、また第30番を選択した者は、第1楽章と第2楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第2番イ長調作品2-2 ・第3番ハ長調作品2-3 ・第4番変ホ長調作品7 ・第6番ヘ長調作品10-2 ・第7番ニ長調作品10-3 ・第11番変ロ長調作品22 ・第16番ト長調作品31-1 ・第18番変ホ長調作品31-3 ・第21番ハ長調作品53「ワルトシュタイン」 ・第26番変ホ長調作品81a ・第30番ホ長調作品109 I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 繰り返しは省略すること。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。
器 楽	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン専攻の頁を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。演奏後に簡単な面接を行うことがある。
	ヴィオラ (Va)	C. Stamitz: Viola concerto No.1 ニ長調(D-dur) より 第1楽章 Allegro (カデンツァ付き) ※Henle版を使用し、カデンツァはCadenza Bを演奏すること。 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) J. Haydn: Concerto C major 第1楽章(楽譜は何版を使ってもよい)。 Cadenzaは除く。 (B) C. Saint-Saëns: Concerto A minor Op.33 第1楽章 (C) E. Lalo: Concerto D minor 第1楽章(初めから117小節Lentoまで) (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハープ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 木	フルート (Fl)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) Mozart : Konzert für Flöte und Orchester K. 314 より第1楽章, 第2楽章</p>
	オーボエ (Ob)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※音階課題は課さない。</p> <p>(1) F. Gillet : Studies for the advanced teaching of the oboe no. 20 & 21 演奏箇所は当日指定する。 (2) W. A. Mozart : Konzert für Oboe und Orchester C-Dur KV 314 (Bärenreiter 版) 全楽章・カデンツァあり。 暗譜のこと。演奏箇所は当日指定する。 (3) オーケストラ・スタディ 《Orchester Probespiel by Miller / Liebermann》(Peters 版) より ・G. Rossini : Die Seidene Leiter ・L.van Beethoven Sinfonie Nr.3 第2,3,4楽章 演奏箇所は当日指定する。</p>
	クラリネット (Cl)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※すべての課題をA管のソプラノクラリネットで演奏すること。</p> <p>(1) 音階 および分散和音(主和音) 学部第一回試験に準ずる。 (2) W. A. Mozart : Konzert A-dur Kv. 622 第1楽章, 第2楽章 (3) H.Hepp, A.Rohde (編) : Orchester-Probespiel / Klarinette(Petes)より Z.Kodály : Tänze aus Galanta</p>
	ファゴット (Fg)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) C. M. v. Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章(何版にても可)</p>
楽 管	サクソフォーン (Sx)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) J. Ibert : Concertino da Camera (Leduc 版)</p>

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器	金	<p style="text-align: center;">ホルン (Hr)</p> <p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) 次の中から任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) 課題曲 W. A. Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より第1楽章 b) 課題曲 W. A. Mozart : Konzert Nr.3 Es-Dur K.447 より第1楽章 (カデンツァあり) c) 課題曲 W. A. Mozart : Konzert Nr.4 Es-Dur K.495 より第1楽章 (カデンツァなし)</p>
		<p style="text-align: center;">トランペット (Tp)</p> <p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階 P.65～P.80, 短音階 P.81 第70～81番 上記の中より当日指定する。 (注) B♭ Trumpet を使用のこと。 長音階第16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69番は除く。 (2) H. Tomasi : Concerto 全楽章より当日指定する。 (注) C Trumpet を使用のこと。</p>
	<p style="text-align: center;">管</p> <p style="text-align: center;">テナー・トロンボーン (TTb)</p> <p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※(4)は、各自の楽譜を使用すること。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>第7ポジションまで演奏すること。 (注) 暗譜とする。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.11 の No.2.1 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.9, 14, 18, 19, 20, 24, 26, 32, 34, 45, 49 (注) (4)の演奏箇所は当日指定する。リピートは不要。</p>	

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 楽	金	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※(4)は、各自の楽譜を使用すること。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分</p>  <p>第7ポジションまで演奏すること。 (注) 暗譜とする。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.11 の No.2.1 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より No.8, (9), (16), 18, (19), 26, (37) 39, 56, 58, 59</p> <p>(注) (4)の演奏箇所は当日指定する。 (4)の () の曲は1オクターブ下げて演奏すること。他は記譜通り。 リピートは不要。</p>
	管	<p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分</p>  <p>(注) 暗譜で演奏のこと。トロンボーン演奏に準ずる。</p> <p>(3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.48～57 より当日指定する。リピートは不要。</p> <p>(4) Allen Vizzutti : Cascades for Unaccompanied Euphonium (Editions Bim 版)</p>
		<p>チューバ (Tu)</p> <p>※試験はすべて無伴奏とする。 ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。 (2) R. Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and orchestra</p>
	打 樂 器 (Pc)	<p>(1) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, ロール ( 等)</p> <p>(2) 音階 (鍵盤打楽器による)</p> <p>(3) Collection Drum Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) より P.4～P.19 の中から当日指定する。</p> <p>(4) 小太鼓またはマリリンバによる自由曲</p> <p>(5) 音感テスト (注) 小太鼓は、各自持参すること。</p>

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 古 楽 楽		<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4', FF-f") のみとする。</p> <p>② 実技試験の行われるオルガンの仕様については、学部オルガン専攻の項を参照すること。</p> <p>③ フォルテピアノは、18世紀末ウィーン式モデル (a' =430, 音域 FF-g") である。</p> <p>④ 必要な伴奏者 (チェンバロ) は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。</p> <p>⑤ すべての受験者は、曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに提出すること。</p> <p>⑥ すべての受験者に面接を課す。なお、別科バロック声楽、別科バロックヴァイオリン、別科バロックチェロ、別科リコーダーの各専攻の面接においては、数字付き低音の基礎的知識の有無を問う試問がなされることがある。</p> <p>⑦ 別科チェンバロ、別科バロックオルガン、別科フォルテピアノの各専攻には、通奏低音課題 (簡易な数字付き低音課題が当日与えられ、5分間の予見ののちにそれぞれの専攻楽器で実施する) が課される。</p> <p>⑧ 各自の演奏する楽譜をコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願とともに学生募集係に送付すること。</p> <p>当該楽譜は「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。封筒裏面には志願者の氏名および受付番号を必ず記入すること。</p>
	バロック声楽 (BVo)	<p>I. 5分程度の自由曲</p> <p>II. 初見視唱課題 初見視唱課題は、ルネサンスからC.モンテヴェルディまでの時代の声楽ポリフォニー作品及びJ.S.Bach, G.F.Handelの声楽パートの一部を改変したものから出題される。</p>
	バロックヴァイオリン (BVn)	<p>下のア)とイ)のどちらかを選んで演奏する。</p> <p>ア) A.Corelli: ヴァイオリンソナタ集 op.5 のソナタ第1番から第6番までの中から1曲選択し、当日指定された楽章を演奏する。</p> <p>イ) J.S.Bach: BWV1001~1006の無伴奏曲の中から1曲を選択し、任意の2つの楽章を演奏する。</p>
	バロックチェロ (BVc)	<p>J.S. Bach: Suite a violoncello solo senza basso no.1-3 (BWV 1007-1009) の中から1曲を選択し、Allemande, Courante を演奏する。(繰り返しは省略のこと)</p>
	リコーダー (Rec)	<p>5分程度の自由曲</p>
	チェンバロ (Cemb)	<p>I. J.S. Bach: Die sechs Englischen Suiten (BWV 806-811) から任意の組曲1曲を選び、その中からPrélude, Courante, Sarabandeを演奏する(繰り返しは省略)。なおCouranteとSarabandeが複数ある組曲の場合は、Courante, Sarabandeそれぞれ1つ分を任意に選んで演奏すればよい。</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>
	バロックオルガン (BOrg)	<p>I. 次の2作品から任意の1曲を演奏する</p> <p>イ) J.S.Bach: Präludium und Fuge in D, BWV 532</p> <p>ロ) J.S.Bach: Präludium und Fuge in G, BWV 541</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>
フォルテピアノ (FP)	<p>I. W.A.MozartもしくはJ.Haydnのクラヴィエーア作品から5分程度の作品または楽章</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>	

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲																			
邦	◎邦楽共通注意事項 受験者は、志願する専修部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の志願者は唄本（歌詞のみ）を用いてよい。	●専修部門課題曲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>専修部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>「北洲」（川口お直作曲）</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>「北洲」（川口お直作曲）</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子（小鼓）</td> <td rowspan="4">「常磐の庭」（十世杵屋六左衛門作曲） 「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃（大鼓）</td> </tr> <tr> <td>〃（太鼓）</td> </tr> <tr> <td>〃（笛）</td> </tr> </tbody> </table>	専修部門	課題曲	長唄三味線	「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）	常磐津三味線	「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）	清元三味線	「北洲」（川口お直作曲）	長唄	「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）	常磐津	「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）	清元	「北洲」（川口お直作曲）	邦楽囃子（小鼓）	「常磐の庭」（十世杵屋六左衛門作曲） 「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）	〃（大鼓）	〃（太鼓）	〃（笛）
		専修部門	課題曲																		
長唄三味線	「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）																				
常磐津三味線	「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）																				
清元三味線	「北洲」（川口お直作曲）																				
長唄	「土蜘蛛（上の巻）」（三世杵屋勘五郎作曲）																				
常磐津	「鶴亀」（四世岸澤古式部作曲）																				
清元	「北洲」（川口お直作曲）																				
邦楽囃子（小鼓）	「常磐の庭」（十世杵屋六左衛門作曲） 「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）																				
〃（大鼓）																					
〃（太鼓）																					
〃（笛）																					
●専修部門以外の実技試験は、下記区分に従い自由曲1曲を選び、曲目提出用紙の所定欄に記入すること。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>専修部門</th> <th>専修部門以外の実技試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子（小鼓）</td> <td rowspan="4">長唄三味線または長唄（自由曲）</td> </tr> <tr> <td>〃（大鼓）</td> </tr> <tr> <td>〃（太鼓）</td> </tr> <tr> <td>〃（笛）</td> </tr> </tbody> </table>	専修部門	専修部門以外の実技試験	長唄三味線	長唄（自由曲）	常磐津三味線	常磐津（自由曲）	清元三味線	清元（自由曲）	長唄	長唄三味線（自由曲）	常磐津	常磐津三味線（自由曲）	清元	清元三味線（自由曲）	邦楽囃子（小鼓）	長唄三味線または長唄（自由曲）	〃（大鼓）	〃（太鼓）	〃（笛）		
専修部門	専修部門以外の実技試験																				
長唄三味線	長唄（自由曲）																				
常磐津三味線	常磐津（自由曲）																				
清元三味線	清元（自由曲）																				
長唄	長唄三味線（自由曲）																				
常磐津	常磐津三味線（自由曲）																				
清元	清元三味線（自由曲）																				
邦楽囃子（小鼓）	長唄三味線または長唄（自由曲）																				
〃（大鼓）																					
〃（太鼓）																					
〃（笛）																					
邦楽	長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元 邦楽囃子（笛含む）	(注) 1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。 2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。 3. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とし、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。 4. 長唄三味線は本学で用意した楽器を使用するが、常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。 付属品（撥、指かけ、ひざゴム等）は各自持参すること。 5. 三味線音楽において、専修部門以外の実技試験が三味線の場合、譜面使用不可（暗譜）とする。 6. 邦楽囃子において、専修部門以外の実技試験の譜面は使用可とする。 7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。																			

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
邦	能 楽 (囃子を除く)	<p>シテ方（観世流及び宝生流） 謡曲 「網之段」（桜川） 仕舞 「春日龍神」</p> <p>ワキ方（下掛宝生流） 謡曲 「網之段」（桜川） 仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方（和泉流） 謡曲 「大原木」 小舞 「海道下り」</p> <p>(注) 1. 受験者は黒紋付、袴，白足袋着用の上、無本（暗譜）のこと。</p>
楽	能 楽 囃 子	<p>下記の中から1つを自由選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「男舞」(三段) (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正(政)」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ(昔男のヨリ)</p> <p>(注) 1. 笛以外の楽器は，地謡の流儀（観世流，宝生流のいずれか）を曲目提出用紙に記入すること。 2. 受験者は黒紋付，袴，白足袋着用の上、無本（暗譜）のこと。</p>

6. 入学試験

1. 試験は、2025年3月8日(土)及び2025年3月9日(日)に音楽学部(上野校地)で行う。専修別詳細日程は、「入学試験実施日程表」(別表2)(102ページ)を参照すること。

(注) 別科試験日程は、2025年3月7日(金)に発表する。本学「入試情報サイト」での発表は14時以降(予定)行うので、志願者自身が必ず確認すること。(試験日時・試験曲等を間違えた場合は失格(不合格)となる。)

2. 受験の際は、本募集要項表紙裏面記載の「受験上の注意事項」にも留意すること。

7. 最終合格者発表

2025年3月13日(木)に発表する。本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)及び音楽学部構内で14時以降(予定)に発表を行う。電話・電子メール等による合否等の問い合わせには一切応じない。最終合格者は、以下の方法により入学手続書類を受け取ること。

出願時に申請した住所に対して2025年3月13日(木)中に大学から合格者へ入学手続書類を発送する。合格発表時に指示する方法で、2025年3月15日(土)12時までに、入学意思があることを必ず本学に連絡すること。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものと取り扱う。入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)にて掲載する。

(2025年3月13日(木)14時以降)

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

合格者発表は音楽学部構内でも掲示を行う。
(構内掲示期間は2025年3月13日(木)17時まで)

8. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は郵送により行う。詳細は入学手続書類発送の際、案内を交付するので、案内に従って手続を行うこと。

1. 入学手続期間 郵送受付：2025年3月21日(金)必着

※合格発表時に指示する方法で、2025年3月15日(土)12時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡すること。

入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

2. 郵 送 先 〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

3. 入学料等の支払

入学料・・・・・・・・・・84,600円(予定額)

(注) 入学手続終了者が2025年3月31日(月)までに入学辞退を申し出た場合でも入学料は返還しない。

*参考までに、入学手続時には上記入学料の他に次のような経費の支払が必要となる。

○学生教育研究災害傷害保険料(2年間)・・・・・・・・1,750円

○学研災付帯賠償責任保険料・・・・・・・・・・680円

○同声会費(同窓会費)・・・・・・・・・・60,000円

○キャンパス環境整備支援会費・・・・・・・・・・50,000円

(キャンパス環境整備支援会：大学のキャンパス環境の充実を図るため、大学の施設整備等に対し助成を行う会です。本趣旨にご賛同の上、ご協力(ご入会)をお願いします。(会費入学時のみ支払/卒業まで有効))

また、生協加入については別途資料が郵送されます。加入については任意です。

(加入出資金15,000円、その他共済掛金等)

※授業料・・・・・・・・前期分321,480円、後期分321,480円(年額642,960円)〔予定額〕(国費外国人留学生は支払不要)

(注) 1. 授業料支払に関しては入学手続時に詳細を通知する。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

4. 提出書類 誓約書・・・・・・・・・・1通(所定用紙を交付する。)

卒業証明書・・・・・・・・・・1通(2025年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ)

そ の 他・・・・・・・・合格者発表時通知する。

5. 留意事項

① 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱う。

② 受験のために「短期滞在」の在留資格で来日した者は、入学までに一時帰国して「留学」の在留資格を取得し、母国の日本大使館・領事館で査証/ビザを申請すること。

在留資格認定証明書の代理申請を本学に依頼する場合は、入学手続時に必要書類を提出すること。

※他大学にも合格した場合などで、在留資格認定証明書の交付申請が重複しないように注意すること。

9. 藝心寮（学生寮）について

1. 申込方法

申込方法は下記の本学藝心寮ページよりご確認ください。

藝心寮ページ <https://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

2. 募集期間

① 合格前予約の募集期間 2025年1月7日(火)～3月4日(火)

② 合格後の募集期間※ 2025年3月14日(金)～3月15日(土)

※合格前予約制度合格者の数に応じて募集を行わない可能性もある。

3. 入寮申込問い合わせ先

学生マンション総合案内センター「東京藝術大学藝心寮受付窓口」

(株式会社毎日コムネット東京駅前センター内)

フリーダイヤル 0120-423-280 電話 03-5204-8502 FAX03-5204-8503

10. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

音楽学部と同様とする。(本募集要項73ページ参照)

Ⅲ 2025年度 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（別表1）

旧教育課程履修者（高等学校（中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月に入学し、令和7年3月に卒業見込みの者以外の者）は、旧教育課程による出題科目を選択することができます。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

学科	受験を要する教科・科目名			配点等
	教科	科目名		
作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科	国語（必）	『国語』	2 教 科 2 科 目	○指定した教科・科目の配点は、国語 200 点、外国語 200 点とし、合計 400 点とする。 （※1）「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、リーディングの他にリスニングを課す。なお、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の得点を 160 点：40 点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語（必）	『英語（リスニング含）』（※1） 『ドイツ語』 『フランス語』		

学科	受験を要する教科・科目名		配点等	
	教科	科目名		
楽理科	国語 (必)	『国語』	<p>○教科名の (必) は必須, (選) は選択教科・科目</p> <p>志願者は, 必須教科・科目の他に, 選択科目・教科から1科目選択し, 合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超えて受験した場合は, いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし, 地理歴史及び公民並びに理科において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○指定した教科・科目の配点は「国語 200点」, 「外国語 200点」, 「地理歴史, 公民, 数学, 理科, 情報のうち1教科 100点」とし, 合計 500点とする。</p> <p>(※1) 外国語のうち, 『英語』を選択した場合は, リーディングの他にリスニングを課し, それを含めて『英語』の評価とする。</p> <p>なお, リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計点数を, 160点: 40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか, 必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3) 『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』は, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は, 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語 (必)	『英語 (リスニング含)』 (※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史 (選) 公民 (選)	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』 (※2) 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』		から1科目選択
	<p>旧教育課程履修者は, 次のア, イのいずれかを選択し, 解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の6科目 (上記) のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の10科目 (以下) のうちから1科目を選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理, 旧政治・経済』</p> <p>注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p>			
	数学 (選)	『数学I, 数学A』『数学I』 『数学II, 数学B, 数学C』		から1科目選択
	旧教育課程履修者 『数学I, 数学A』『数学I』 『旧数学I』『旧数学I, 旧数学A』	から1科目選択		
	注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる4科目から1科目選択する。			
	旧教育課程履修者 『数学II, 数学B, 数学C』 『旧数学II』『旧数学II, 旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関連基礎』	から1科目選択		
	注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる5科目から1科目選択する。			
理科 (選)	『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』 (※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1科目選択		
情報 (選)	『情報I』			
	旧教育課程履修者 『情報I』 『旧情報』	から1科目選択		
	注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる2科目から1科目選択する。			

3教科3科目

学科	受験を要する教科・科目名		配点等	
	教科	科目名		
音楽環境創造科	国語 (必)	『国語』	<p>○教科名の (必) は必須, (選) は選択教科・科目</p> <p>志願者は, 必須教科・科目の他に, 選択科目・教科から1科目選択し, 合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超えて受験した場合は, いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし, 地理歴史及び公民並びに理科において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○指定した教科・科目の配点は「国語 200点」, 「外国語 200点」, 「地理歴史, 公民, 数学, 理科, 情報のうち1教科 100点」とし, 合計 500点とする。</p> <p>(※1) 外国語のうち, 『英語』を選択した場合は, リーディングの他にリスニングを課し, それを含めて『英語』の評価とする。</p> <p>なお, リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計点数を, 160点: 40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか, 必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3) 『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』は, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は, 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語 (必)	『英語 (リスニング含)』 (※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史 (選) 公民 (選)	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』 (※2) 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』		から1科目選択
	<p>旧教育課程履修者は, 次のア, イのいずれかを選択し, 解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の6科目 (上記) のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の10科目 (以下) のうちから1科目を選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理, 旧政治・経済』</p> <p>注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p>			
	数学 (選)	『数学I, 数学A』『数学I』 『数学II, 数学B, 数学C』		から1科目選択
	<p>旧教育課程履修者</p> <p>『数学I, 数学A』『数学I』 『旧数学I』『旧数学I, 旧数学A』</p> <p>注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる4科目から1科目選択する。</p> <p>旧教育課程履修者</p> <p>『数学II, 数学B, 数学C』 『旧数学II』『旧数学II, 旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関連基礎』</p> <p>注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる5科目から1科目選択する。</p>	から1科目選択		
理科 (選)	『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』 (※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1科目選択		
情報 (選)	『情報I』			
	<p>旧教育課程履修者</p> <p>『情報I』 『旧情報』</p> <p>注: 新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせる2科目から1科目選択する。</p>	から1科目選択		

3教科3科目

IV 2025度 音楽学部・別科入学試験実施日程表（別表2）

注1. この日程表は、出願状況によって変更することがあるので、本人が本学「入試情報サイト」で確認すること。
 注2. 表中の※は、楽理科志願者に課されている副科実技をピアノ以外の楽器で受験する者の副科実技試験日を示す。
 注3. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。

日程	学科	作曲科		声楽科	器楽科					指揮科	邦楽科	音楽文化		別科	受験者 集合場所
		作曲	エクリチュール		ピアノ	オルガン	弦楽	管打楽	古楽			楽理科	音楽環境創造科		
2025年2月 24日(月)	音楽学部入学試験実施についての日程（集合時刻、試験時刻）および注意事項等を14時以降本学「入試情報サイト」で発表する。学内掲示は行わない。必ず受験者本人が確認すること。 なお、別科試験実施についての日程（集合時刻、試験時刻）および注意事項等は、3月7日（金）14時以降本学「入試情報サイト」で発表する。														
25日(火)		作曲・エクリチュール第1回 和声(B)9:30~12:30 和声(S)14:00~17:00		声楽第1回	ピアノ第1回		弦楽第1回 Hp, Va, Vc, Cb	管打楽第1回 Fl, Ob, Cl, Tp			邦楽第1回 尺八 箏曲生田流 箏曲山田流 現代箏曲		音楽環境創造 第1回（学力検査） 10:00~11:00		
26日(水)				声楽第1回	ピアノ第1回	オルガン試奏日	弦楽第1回 Vn	管打楽第1回 Hr, Euph, Pc		指揮第1回		楽理第1回 (国語)9:30~11:30 (外国語)12:30~14:30			
27日(木)		作曲・エクリチュール 第1次合格者発表 および日程等発表 (14:00以降)		声楽第1回	ピアノ第1回	オルガン第1回	弦楽第1回 Vn	管打楽第1回 Fg, Sx, Tb, Tu			邦楽第1回 能楽・能楽囃子 三味線音楽・邦楽囃子・現代邦楽囃子 日本舞踊 雅楽		音楽環境創造 第1次合格者発表 および日程等発表 (14:00以降)		
28日(金)		作曲・エクリチュール第2回 厳格対位法 12:00~15:00 コラール課題 15:20~17:20											音楽環境創造 第2回（小論文） 10:00~12:00		
3月 1日(土)				声楽・ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽 第1次合格者発表および日程等発表 (14:00以降)						指揮・邦楽・楽理 第1次合格者発表および日程等発表 (14:00以降)					
2日(日)		作曲・エクリチュール 第2次合格者発表 および日程等発表 (14:00以降)		声楽第2回											
3日(月)			エクリチュール 第3回	声楽第2回	ピアノ第2回			管打楽第2回 Fl, Ob, Tp, Tb, Euph			邦楽第2回 三味線音楽・邦楽囃子・現代邦楽囃子 日本舞踊 雅楽	※管打楽器(Fl, Ob, Tp, Tb, Euph) ※三味線音楽 ※邦楽囃子 ※雅楽	音楽環境創造 第2回（面接）		
4日(火)		作曲第3回 自由作曲 9:30~18:30			ピアノ第2回		弦楽第2回 Hp, Va, Vc, Cb	管打楽第2回 Sx, Hr, Tu, Pc		指揮第2回	邦楽第2回 能楽・能楽囃子	※弦楽器(Hp, Va, Vc, Cb) ※管打楽器(Sx, Hr, Tu, Pc) ※能楽囃子	音楽環境創造 第2回（面接）		
5日(水)				声楽第2次合格者発表 および日程等発表 (14:00以降)	ピアノ第2回	オルガン第2回	弦楽第2回 Vn	管打楽第2回 Cl, Fg	古楽第1回	指揮第2次 合格者発表および 日程発表 (14:00以降)	邦楽第2回 尺八 箏曲山田流 箏曲生田流 現代箏曲	※オルガン ※チェンバロ ※弦楽器(Vn) ※管打楽器(Cl, Fg) ※尺八 ※箏曲山田流 ※箏曲生田流	音楽環境創造 第2回（面接）		
6日(木)				声楽第3回						指揮第3回 (和声)10:00~ 11:30		楽理第2回 (和声)10:00~11:30 (小論文)13:00~15:00	音楽環境創造 第2回（面接）		
7日(金)		作曲・エクリチュール 第3次合格者発表 および日程等発表 (14:00以降)		声楽日程等発表 (14:00以降)	ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽 第2次合格者発表および日程等発表 (14:00以降)			古楽第1次合格者 発表および 日程等発表 (14:00以降)		指揮日程等発表 (14:00以降)	邦楽 第2次合格者発表および日程等発表 (14:00以降)	楽理日程等発表 (14:00以降)		入学試験実施についての日程（集合時刻、試験時刻）および注意事項等を14時以降に本学「入試情報サイト」で発表する。学内掲示は行わない。必ず受験者本人が確認すること。	
8日(土)		楽典・聴音・新曲視唱・ リズム課題、副科ピアノ ピアノ新曲・面接		楽典、聴音、副科ピアノ	楽典・聴音・新曲 視唱・リズム課題	楽典・聴音・新曲視唱・ リズム課題・ 副科ピアノ	楽典・聴音・ 新曲視唱・ リズム課題		楽典・副科ピアノ	楽典	楽典・聴音・ 新曲視唱・ リズム課題・ 副科ピアノ		別科ピアノ		
9日(日)												楽理第2回 口述試問		別科声楽 別科オルガン 別科弦楽 別科管打楽 別科古楽 別科邦楽	
13日(木)		音楽学部・別科最終合格発表14:00以降													

5-109室
（大講義室）

V 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並び健康診断等の健康管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

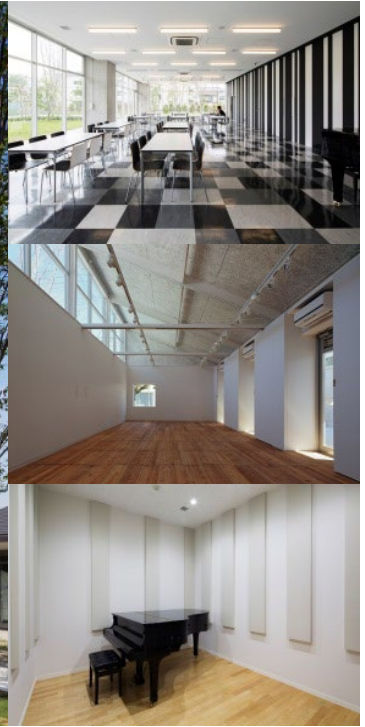
2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

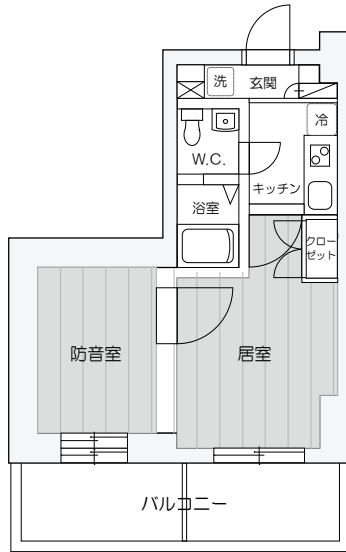
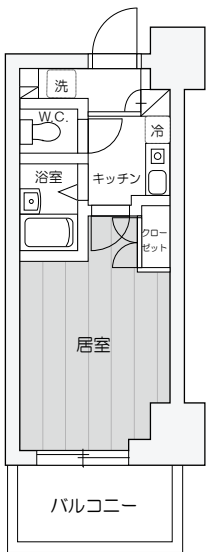
- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報（氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生協同組合
 - ⑤キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会）

藝心寮のご案内



Aタイプ 約18㎡(居室+バルコニー)

Bタイプ 約29㎡(居室+防音室+バルコニー)



所在地: 東京都足立区東和三丁目12番30号

月額賃料: Aタイプ37,900円(280戸)、Bタイプ76,200円(20戸)

管理費: 8,000円、敷金: なし、更新料: なし

入居一時金: Aタイプ45,900円、Bタイプ84,200円

竣工: 平成26年2月

設備: 全個室(バス、トイレ、ミニキッチン(IH)、収納、エアコン)

ACCESS MAP



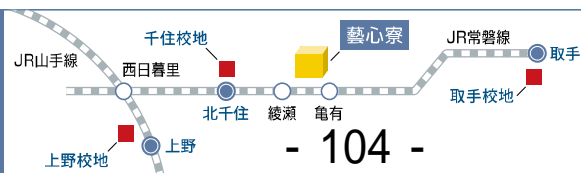
1 ● JR常磐線「亀有」徒歩約15分

2 ● 東京メトロ千代田線「北綾瀬」徒歩約16分

各校地への所要時間

※JR常磐線亀有駅からの徒歩分数を含みます

- 上野校地/約47分
- 取手校地/約1時間12分
- 千住校地/約28分



1. 応募(入寮)資格

- (1)2025年4月1日に、本学に新たに入学する学生(学部、大学院、研究生及び別科生を含む。以下同じ。)
- (2)申込み時に本学の学生であり、かつ、2025年4月1日現在も、引き続き本学に在学する予定の学生
- ※ 本学での学生としての身分を喪失した場合は入寮資格を失います。また、休学する場合も、原則として入寮資格を失います。
- ※ 外国人留学生(在留資格が「留学」のもの)で連帯保証人が見つからない場合は、大学が連帯保証人に代わる制度(機関保証)を利用することができます。この機関保証を利用する場合は、必ず「留学生住宅総合補償」(保険料年4,000円、毎年更新)に加入しなければなりません。この制度に加入できなければ、入寮資格を失います。加入の詳細は、入寮決定後に別途お知らせします。
- 制度の概要: <http://www.jees.or.jp/crifs/index.htm>

2. 入寮可能期間

- (1)在寮期間は、入寮許可された日から、原則、当該学生の修業年限(学部生4年、修士2年、博士3年)の範囲までとします(修業年限には休学期間は含みません)。
- (2)進学等により、引き続き本学に在学する予定の学生は、進学した課程の修業年限まで延長することが可能です。
- (3)在寮期間にかかわらず、契約期間は毎年度末での1年更新となります。更新時の更新料は不要です。

3. 入寮申込について

申込方法は下記の本学藝心寮ページよりご確認ください。

藝心寮ページ <https://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

4. 入寮受付～入寮までのスケジュール

	募集期間	対象	結果通知	入寮日
1 <合格前予約制度>	2025年1月7日(火)～ 2025年3月4日(火)	新入生	2025年3月16日(日)	2025年3月27日以降 (予定)
2*	2025年3月14日(金)～ 2025年3月15日(土)	新入生	2025年3月18日(火) 以降随時	同上

※合格前予約制度合格者の数に応じて募集を行わない可能性もあります。

5. 入寮申込問い合わせ先

学生マンション総合案内センター「東京藝術大学藝心寮 受付窓口」(株式会社毎日コムネット 東京駅前センター内)
フリーダイヤル:0120-423-280(TEL:03-5204-8502) FAX:03-5204-8503
東京都中央区八重洲1-3-22 八重洲龍名館ビル4階

6. 入寮者選考

- (1)自宅等からの通学が困難な者を優先とし、その他、大学が定める選考基準により選考します。
- (2)応募が募集定員数を超えた場合、選考基準をもとに入寮可否を決定します。

7. 契約時に必要な費用に関して

契約時に賃料および管理費(入寮当月分+翌月分)と入居一時金と火災保険料が必要です。

○月の途中に入寮する場合は、入寮当月分は日割りとなります。

○入居一時金(Aタイプ:45,900円 Bタイプ:84,200円)について、退寮時の返金はありません。また、入居一時金には、退寮時の基本清掃代が含まれます。

○契約時に、運営会社が規定する内容の火災保険にご加入いただきます。保険料は年10,000円程度です。

※個人で火災保険に加入している場合でも、運営会社が規定する内容に満たない場合は原則としてご加入いただきます。

8. 退寮に関して

- 契約期間中の途中解約には3ヶ月前の解約通知が必要です。
- 3月に退寮をする場合は、3月20日までに退寮をしなければなりません。

2025年度 東京藝術大学受験 web 宿泊プランについて

この企画に東京藝術大学は関係していません。お問合せは生協へお願いいたします。

東京芸術大学生協同組合 TEL:03-3828-5669 受付:月～金10時～18時、休業:土・日・祝

※短縮営業となる場合がございます。最新の営業時間はHPでご確認ください。

東京芸術大学生協では、(株)日本旅行と提携して受験に便利なホテルのご案内をいたしております。

インターネットよりお申込みください。

●満室等でご予約いただけない場合もございます。お申込みはお早めをお願いいたします。

ご予約はインターネットでお申込みいただけます。

★お申込みの際、クレジットカードが必要となります。

下記日本旅行「大学受験web宿泊プラン」ページへアクセスしてください。

<http://www.nta.co.jp/kokunai/season/coopyado/univ/cc010/index.htm>



大学受験web宿泊プラン

★ 受験会場（大学所在地）に、交通が便利なホテルをインターネットで簡単検索

★ 受験日や宿泊条件から、ご希望のホテルをお選びいただけます！

★ ご予約もインターネットでらくらく。すぐに可否がわかります。

東京芸術大学

路線図を見る 全体のエリアMAP (ホテル一覧もご覧いただけます)

上野キャンパス ●JR各線「上野」駅より徒歩約10分、東京メトロ銀座線、日比谷線「上野」駅より徒歩約15分
●東京メトロ千代田線「根津」駅より徒歩約10分

主要駅から大学最寄り駅までの所要時間 ※所要時間は目安となります(駅での停車時間、乗換時間は含まれておりません)。また、運行状況により遅れが発生する場合がございます。

○JR山手線

東京 約2分 神田 約2分 秋葉原 約2分 御徒町 約2分 上野 約4分 日暮里 約5分 駒込

ご宿泊に便利なホテル

地区名	施設名	最寄駅	所要時間	電気スタンド	禁煙ルーム	加湿器	2名1室設定	MAP
上野	上野ケミナルホテル	JR各線 上野駅	徒歩約3分	貸出	有	貸出	無	-
お茶ノ水・神田	京王プレッソイン神田	JR・地下鉄各線 神田駅	徒歩約5分	常備	有	常備	無	MAP

上記はイメージです。実際の画面と異なる場合があります

<お部屋探しも大学生協で>

ご入学後の引越し先を早期にお探しになりたい方は、大学生協提携店へご相談下さい。

詳しくは下記WEBページをご覧ください。

https://univ-room.jp/campus/univ.php?news_univ_id=41

*「藝心寮」に関しては生協では取扱いがございません。大学のご案内をご参照下さい。



<先輩学生が大学生活スタートを応援します>

「新入生交流会」「パソコン使い方講座」など計画中です。

芸大生協学生委員会X(旧Twitter)では新入生の質問にお答えしています。

詳細は「芸大生協新入生応援サイト」でお知らせします。

大学生活の準備に役立つ資料を生協がご用意します
藝大受験をお考えの方、まずは生協資料をご請求ください
下記URL または二次元バーコードからアクセスしてください

東京芸術大学生協新入生応援サイト

<https://text.univ.coop/puk/START/geidai/>

東京芸大生協 新入生

検索



新入生応援サイトは12月以降
随時更新します。webより
生協、共済にご加入頂けます。
ぜひ ご覧下さい。

「教科書・パソコン・新生活用品」などの購入案内
先輩学生が作成した「大学生活のしおり」
「生協・共済加入のご案内」など無料でお送りします。

サイト内の「資料請求」からお申し込み下さい

*25年版資料は作成中です。発送は25年1月下旬以降を予定しております。

東京芸術大学生協同組合 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8 Tel:03-3828-5669 Fax:03-3828-7291
【URL】<https://www.univcoop.jp/geidai/> 【メール】geidai_coop@univ.coop

この紙面は、東京芸術大学生協同組合からのご案内です。
※東京芸術大学生協同組合は学生・教職員によって出資・運営されている自主的な組織です。

東京藝術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

2024年12月発行

東 京 藝 術 大 学